

# 第2期矢巾町スポーツ推進計画

～スポーツをとおして 健康で幸福な  
人生をおくることができるまち やはば～

令和6年度(2024年度)～令和9年度(2027年度)



スポーツのまち  
やはば

令和6年3月  
矢 巾 町



# 目 次

---

## 第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって

1	計画策定の趣旨	1
2	計画策定の性格・位置づけ	2
3	計画の期間	3
4	計画の推進	3

## 第2章 目指す将来像と基本目標

1	スポーツのまち やはば宣言	4
2	基本理念及び 3つの柱と推進施策	4
	●「する」スポーツ	5
	●「みる」スポーツ	6
	●「ささえる」スポーツ	6
3	計画の体系図	8

## 第3章 矢巾町のスポーツ活動の現状と課題

1	第1期計画（令和2年度～令和5年度）の総括的な評価	9
2	第7次矢巾町総合計画（後期基本計画の達成状況）	10
3	スポーツ活動の現状	11
	（1）アンケート結果から	11
	（2）障がい者のスポーツ活動について	16
	（3）社会体育施設、スポーツ施設について	17
	（4）総合型地域スポーツクラブについて	18
	（5）町内のスポーツ関係団体について	18
	（6）スポーツ推進委員・体育振興委員について	18
	（7）選手の育成・強化について	18
	（8）スポーツによる経済効果、スポーツ・ツーリズムについて	19
4	スポーツ活動の課題	19

## 第4章 推進施策への具体的な取り組み

1	推進施策と推進計画の取り組み	22
I	「する」スポーツ	22

推進施策1	それぞれの年代等に応じたスポーツ活動の推進	22
推進施策2	競技スポーツの推進	28
推進施策3	スポーツ環境の整備・活用（社会体育施設の改修と利活用）	29
Ⅱ	「みる」スポーツ	31
推進施策1	プロスポーツ等のふれあい	31
Ⅲ	「ささえる」スポーツ	32
推進施策1	未来を担う人材の育成	32
推進施策2	地元スポーツチームの応援	33
推進施策3	各種スポーツ団体の活動情報の発信	34
推進施策4	スポーツをとおした交流人口の拡大とスポーツ・ツーリズムの推進 による地域経済の活性化	35

## 第5章 計画の推進に当たって

1	数値目標の設定及び中長期的な目標設定	36
2	計画の評価	37
3	計画の広報活動	37

## 資料編

1	アンケート調査結果	41
2	公共施設カルテ	55
3	令和元年度の全国体力運動能力、運動習慣等調査結果	95
4	矢巾町スポーツ推進審議会条例	112
5	矢巾町スポーツ推進審議会委員名簿	114
6	矢巾町スポーツ推進計画策定経過	115

## 第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって

### 1 計画策定の趣旨

国では、平成23年にスポーツ振興法（昭和36年法律第141号）がスポーツ基本法（平成23年法律第78号）へ全部改正され、前文で、「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」とし、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会を確保されなければならないと規定されています。

なお、この法律は、スポーツの基本理念等について定めるとともに、スポーツ立国を目指し、国家戦略としてスポーツ政策を推進することが明記されました。この法に定める理念を実現するため、同法第9条において、国にスポーツ基本計画の策定が義務づけられ、平成24年3月に「スポーツ基本計画」を策定、平成29年3月には「第2期スポーツ基本計画」、令和4年3月に「第3期スポーツ基本計画」が公表されました。また、同法第10条では、地方公共団体に対し、国の計画を参酌して、地方の実情に即したスポーツ推進に関する計画を定めるよう努めるものとする明記されています。

スポーツは、スポーツを行う皆さんの身体的・精神的な充実をもたらすだけでなく、スポーツを見る方への楽しさ、喜びと感動、他者との連帯感をもたらすことも大きな意義となっており、さらには、体力の向上やストレスの発散、生活習慣病の予防など、健康の保持増進に大きな役割を果たします。また、スポーツによる自己達成感や仲間との協調性、競争意識などを経験することは、規範意識や思いやりの精神を育成し、人格の形成に好影響をもたらす、青少年の健全育成に大きく貢献します。

スポーツには行う人、見る人、関係する人などに、夢や希望、感動を与えます。人と人、地域と地域の交流を促進し、町民の意識高揚、一体感や活力の醸成など、非常に大きく地域社会を動かす「エネルギー」があります。また、超少子高齢社会やデジタル情報化社会の進展、地域社会の人間関係の希薄化が進むことで変化する社会情勢の中、スポーツをとおして元気で活力あるやはばの子どもたちが、将来に夢と希望を抱き、はつらつとした日常を送ることができる地域社会をつくりあげるため、矢巾町のあらゆるスポーツ環境の整備が一層重要になっております。

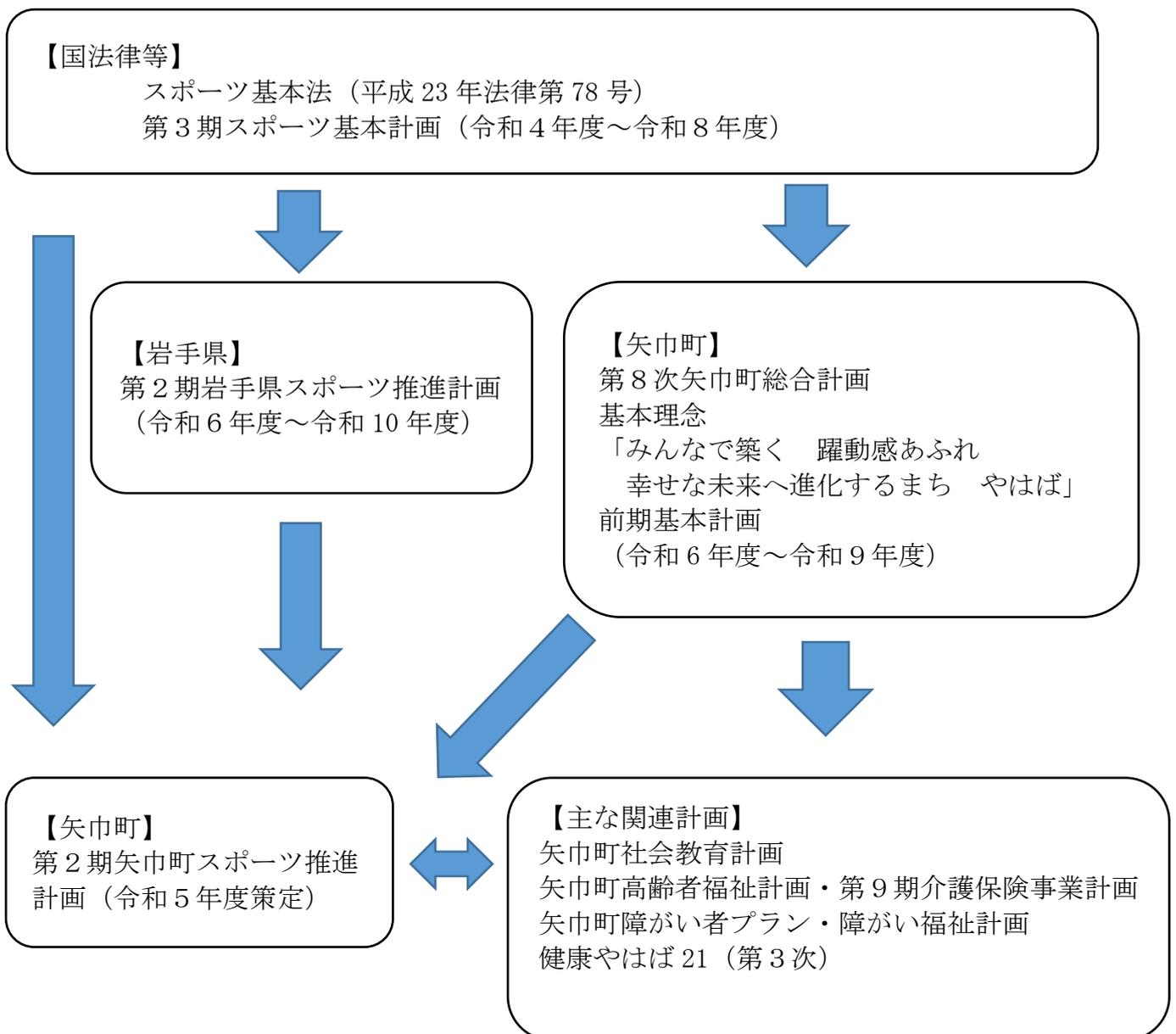
本町においては、平成31年1月に「スポーツのまち やはば」を宣言し、誰もがスポーツを「する みる ささえる」という様々な形で参加し、感動と喜びを分かち合い「いつでも どこでも いつまでも」スポーツができる健康で幸福な人生をおくることができるまちを目指し、また、その実現のために、そして、「第7次矢巾町総合計画後期基本計画」のスポーツ振興に関する施策の方向性を示すものとして、令和2年度（2020年度）から令

和5年度(2023年度)までを計画期間とする「矢巾町スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画の終了にあたり計画内容を見直し、令和6年度からスタートする「第8次矢巾町総合計画」のスポーツ振興に関する施策を、より実効性の高いものとするため、国や県の施策に対応しながら本町のスポーツ推進施策の方向性を示すものとして「第2期矢巾町スポーツ推進計画」を策定するものです。

## 2 計画策定の性格・位置づけ

本計画は、「スポーツ基本法」の理念を踏まえ、令和4年3月に国が策定した「第3期スポーツ基本計画」を参酌し、策定するものであり、当町の最上位計画である「第8次矢巾町総合計画」や、町の関連計画及び国・県の計画との整合性を図り、すべての世代のスポーツ推進のための中長期的な推進方針を示すものとして位置づけます。



### 3 計画の期間

本計画は、令和6年度（2024年度）から令和9年度（2027年度）までの4年間とします。

### 4 計画の推進

- (1) 町民が健康で生涯にわたってスポーツに親しみ、積極的にそれぞれの立場において参加できる体制を整備、推進するため、スポーツ環境の整備に努めます。
- (2) 特定非営利活動法人矢巾町体育協会（以下「矢巾町体育協会」という。）や各種スポーツ団体、（※）総合型地域スポーツクラブ（楽々クラブ矢巾）などとの連携を図り、「協働」することにより、関係団体や地域における積極的な取り組みを推進します。
- (3) 第8次矢巾町総合計画に掲げる、スポーツ活動の振興に係る各施策の実現に向けた取り組みを推進します。

○第8次矢巾町総合計画では

計画の基本理念（目指すべき姿）「みんなで築く 躍動感あふれ幸せな未来へ進化するまち やはば」として、町の将来像を「新たな活力と変革を実感できるまち、ありがとうが行き交う幸せなまち、豊かな環境を未来へつなぐまち」、そしてまちづくりの方針2で「誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり」を掲げ、スポーツ・レクリエーション環境の充実を定めています。

---

【総合型地域スポーツクラブ】 子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向やレベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持つ、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。

## 第2章 目指す将来像と基本理念

### 1 スポーツのまち やはば宣言（目指す将来像）

～みんなの夢、元気あふれる健康なまち やはばを目指して～

平成31年1月19日に、スポーツのまち やはば宣言としてセレモニーが行われました。この宣言の内容は、「ラジオ体操の小気味良いリズムが流れる中一日が始まるまち 通学路を 元気に歩く子どもたち 公民館ではシルバーリハビリ体操を 教える人 そして習う人 運動場や体育館では、それぞれの競技に汗を流す 声援が聞こえる 運動からスポーツへと それぞれのステージで頑張る人々がいるまち やはば 誰もが スポーツを「する みる ささえる」という様々な形で参加し感動と喜びを分かち合い「いつでもどこでも いつまでも」スポーツができる 健康で幸福な人生をおくることを目指し わたくしたちは 本日ここに “スポーツのまち やはば”を宣言します」であり、この実現を目指します。

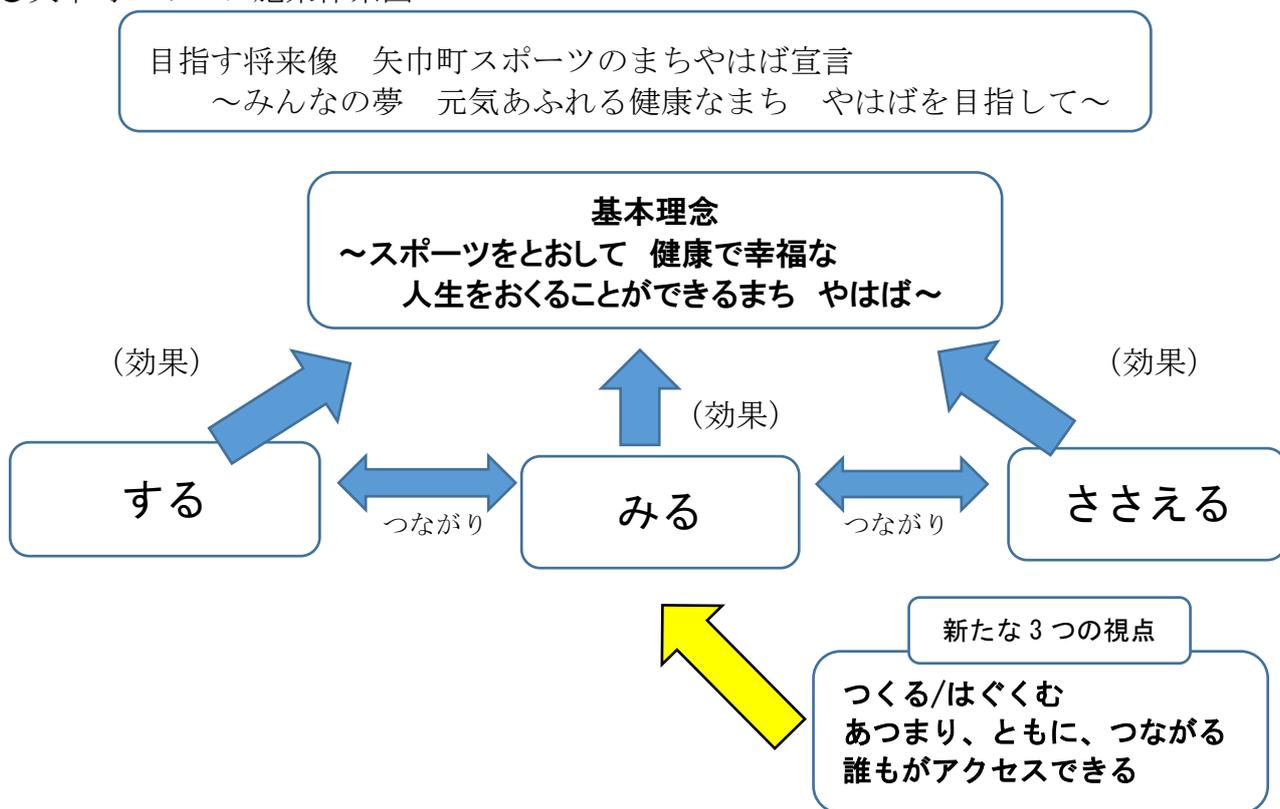
### 2 基本理念及び 3つの柱と推進施策

2022（令和4）年3月に策定された、国の「第3期スポーツ基本計画」において、スポーツを取り巻く環境や社会的状況の進展や変化を踏まえ、国民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すため、「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」という3つの「新たな視点」を加えてスポーツ価値の向上に取り組んでいくこととしています。

本計画においては、～スポーツをとおして 健康で幸福な 人生をおくることのできるまち やはば～を基本理念とし、矢巾町内のスポーツ及びスポーツ環境を「する」「みる」「ささえる」の3つをスポーツへの関わり方の柱として、すべての町民がそれぞれの関心や目的、立場に応じ、スポーツに親しむ「町民のためのスポーツ社会」の実現を目指します。

また、3つの柱が「つながる」ことにより、スポーツの持つ可能性が、町民全てをつなげ地域コミュニティが維持・再生し、そして住んでいる人と地域が輝き、「健康で幸福な人生」となることや、町外の様々な人や資源と結びつける波及効果を生み出すことを目指し、3つの項目を柱として、相互に連携しながら、また、国の「第3期スポーツ基本計画」に定める3つの「新たな視点」も加え、より効果的な計画の推進を図ります。

●矢巾町スポーツ施策体系図



●「する」スポーツ

スポーツをする習慣が定着し、日常生活の一部になることで健康が維持され、人生を楽しく生きいきしたものにすることができます。スポーツが持つ価値を町民全員が享受するため、あらゆる人に対応し、競技スポーツからレクリエーション活動、(※) eスポーツなど、スポーツ活動を「する」ことができる環境の整備に取り組むことで、「健康で幸福な社会」の実現を目指します。

〔推進施策〕

(1) それぞれの年代等に応じたスポーツ活動の推進

全ての町民がそれぞれのライフステージに応じて、年齢や性別、障がいの有無に関わらずスポーツ活動に親しみ、楽しむことができる環境の整備を推進していきます。

(2) 競技スポーツの推進

オリンピック・パラリンピック競技大会や今後の国際大会などで、当町から全国や世界で活躍できる競技スポーツの選手育成に取り組みます。

【eスポーツ】 eスポーツ（イースポーツ）は、コンピュータゲームをスポーツ競技として捉える際の名称で、エレクトロニック・スポーツ（electronic sports）の略称です。

### (3) スポーツ環境の整備・活用

老朽化が進行している社会体育施設の計画的な改修に引き続き取り組むとともに、全町的及び他市町村を含む広域的な施設利用や適正配置を検討し、町民のニーズを捉えた整備に努めます。

また、その他公共施設や民間スポーツ施設等の有効活用についても検討を進め、スポーツを楽しむ町民の利便性向上に努めるとともに、利活用促進を図ります。

## ●「みる」スポーツ

プロスポーツやトップレベルの競技大会を「みる」こと「肌で感じる」ことをとおして、実際にスポーツ活動をしている、していないに関わらず、スポーツの楽しさや素晴らしさを体感してもらうことで、町民のスポーツに対する関心の向上を目指します。

また、パラリンピアン競技を通じて、障がいに対する理解を深めるなど、心のバリアフリーを推進し、共生社会の実現を目指します。

### 〔推進施策〕

#### (1) プロスポーツ等とのふれあい

様々なプロスポーツの試合やプロスポーツ団体のホームタウン化、国際大会、全国大会等のスポーツイベントの開催や誘致に取り組み、一流のプレーを身近に感じ、「みる」ことができる環境を整備します。

## ●「ささえる」スポーツ

スポーツをする人や団体を「ささえる」ボランティアの人材や組織の充実はスポーツ環境にとって重要であることから、スポーツを「ささえる」ボランティアの育成や確保に取り組んでいきます。

また、スポーツ行事とそれに関わる関係者や来町者は、矢巾町を支えるよき理解者となることが期待できることから、その来町者に対して、おもてなしの心を持つことや、スポーツをとおして地域の一体感を醸成するため、交流人口の拡大に向けた（※）スポーツ・ツーリズムの推進に取り組み、地域経済効果を含めた地域の発展や活性化を目指します。

---

【スポーツ・ツーリズム】プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取り組み。

## 〔推進施策〕

### (1) 未来を担う人材の育成

スポーツに関わる人口を拡大するには、地域住民の参加が必要であり、スポーツ少年団における保護者や、ボランティアとして参加しながら「ささえる」人材の協力が大きな役割を果たしています。町民がボランティアなどに参画することで、スポーツをしやすい、親しみやすい環境づくりに取り組めます。

また、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの地域への浸透、そして、子どもたちのスポーツ環境を「ささえる」正しい知識と質の高い指導力を持った指導者の育成・支援に取り組んでいきます。

### (2) 地元スポーツチームの応援

地域に根差したスポーツチームがあることは、地域の人々を元気にします。多くの町民がサポーターとなり、チームとともに成長する喜びを分かち合うことで、スポーツを「ささえる」ことの充実感、楽しさや素晴らしさを感じてもらえるように取り組んでいきます。

### (3) 各種スポーツ団体の活動情報の発信

各種スポーツ団体の活動情報を発信することにより、活動に興味や関心を持っている町民や団体がつながるような取り組みを進めていきます。

### (4) スポーツをとおした交流人口の拡大とスポーツ・ツーリズムの推進による地域経済の活性化

スポーツへの参加や交流を目的とした当町への来訪者に対し、豊かな自然環境の中での野外活動等を含めた地域資源とスポーツを掛け合わせた観光を楽しむ「スポーツ・ツーリズム」の推進を図るため、(※)「盛岡広域スポーツコミッション」と連携し、スポーツイベント等の開催をささえる、スポーツを核とした地域経済の活性化に向けて取り組まします。

---

**【盛岡広域スポーツコミッション】** 「スポーツ・ツーリズム」の推進や、スポーツイベントの誘致、開催支援を通じて、スポーツの振興と地域経済を活性化することを目的として組織された団体。盛岡市・八幡平市・滝沢市・雫石町・葛巻町・岩手町・紫波町・矢巾町の8市町、8市町の体育協会、プロスポーツ団体、商工会議所、観光コンベンション協会、大学等23団体で構成されており、2016年に開催された「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の遺産を確実に未来に引き継いでいくため、2017年3月に設立されました。盛岡広域8市町がそれぞれの自立性を尊重しつつ、相互に連携・協調して、盛岡広域圏の魅力の発信と賑わいの創出を図っています。

### 3 計画の体系図

スポーツ施策体系図は、計画の全体像を整理したものです。町内でのスポーツ推進における現状と課題を踏まえて、スポーツを「する みる ささえる」という視点から、今後の取り組み内容をまとめました。

基本理念	～スポーツをとおして 健康で幸福な 人生をおくることができるまち やはば～
------	--

3つの柱	推進施策	重点的な取り組み
1 「する」 スポーツ	(1)それぞれの年代等に応じたスポーツ活動の推進	①子どもたちのスポーツ活動への参加促進
		②働く世代のスポーツ活動の推進
		③高齢者の健康づくり・スポーツ活動の推進
		④障がい者スポーツの推進
	(2)競技スポーツの推進	①トップアスリートの活用による競技スポーツの振興
		②スポーツ団体・選手への側面的な支援
		③少子化による競技スポーツの影響に対する支援
	(3)スポーツ環境の整備・活用	①社会体育施設の整備・検討
		②学校施設開放の推進
③様々な体育施設とのネットワークの構築		
2 「みる」 スポーツ	(1)プロスポーツ等とのふれあい	①プロスポーツやトップアスリートによる試合の誘致活動の活発化
		②全国大会等が開催しやすい受け入れ体制の構築
3 「ささえる」 スポーツ	(1)未来を担う人材の育成	①大学や医療機関と連携した人材育成の推進
		②スポーツボランティア制度に向けた取り組み
		③総合型地域スポーツクラブとの連携
	(2)地元スポーツチームの応援	①地元アスリートや地元スポーツチームの活動支援
	(3)各種スポーツ団体の活動情報の発信	①スポーツ活動の広報支援
	(4)スポーツをとおした交流人口の拡大とスポーツ・ツーリズムの推進による地域経済の活性化	①地域スポーツコミッションの推進

## 第3章 矢巾町のスポーツ活動の現状と課題

### 1 第1期計画（令和2年度～令和5年度）の総括的な評価

第1期計画では、「みんなの夢、元気あふれる健康なまち やはばを目指して」スポーツのまち やはば宣言の下、「する」「みる」「ささえる」の3をスポーツへの関り方の柱として各種基本施策に取り組んできました。

これらの第1期計画中の進捗に関する総括的な評価は、次のとおりです。

#### ●「する」スポーツ

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くのスポーツ大会やイベントが中止となる期間がありましたが、感染予防対策を講じながら各種事業を実施したものの、十分なスポーツ活動の推進が図られませんでした。

今後も引き続き、障がいの有無に関わらず、すべての人がスポーツをすることができる環境の整備を推進していく必要があります。

#### ●「みる」スポーツ

東京オリンピック・パラリンピックに出場した当町出身選手の観戦会は人数を制限しての実施でしたが、トップアスリートの一流のプレーに触れる機会の創出を図ることができました。このように今後も、トップアスリートの観戦機会の提供のほか、「みる」ことでスポーツの楽しさを体感し、スポーツに対する関心の向上を目指します。

#### ●「ささえる」スポーツ

町民スポーツ大会や各種イベントは各協会やボランティア等の協力により開催ができています。より一層の充実を図るため人材の育成や確保に取り組み各種スポーツと地域をつなげることができるよう継続していく必要があります。

## 2 第7次矢巾町総合計画（後期基本計画）の達成状況

### 【まちづくりの指標】

番号	指 標	単位	現状値 (R元)	(R 2)	(R 3)	(R 4)	(R 5)	目標値 (R5)
①	スポーツ交流イベント の参加者数	人	900	中止	中止	745	1265	1000
②	体力・運動能力が標準 以上の児童生徒の割合 (小5、中2)	%	小男74 小女83 中男78 中女91	中止	小男74 小女83 中男84 中女94	小男71 小女80 中男88 中女100	小男71 小女74 中男84 中女87	小男76 小女85 中男80 中女93
③	県民体育大会出場種目 数	競技	20	1	18	15	18	20
④	障がい者スポーツ普及 イベント参加者数	人	180	中止	中止	194	382	500

①スポーツ交流イベントの参加者数について、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となり計画通りの活動はできませんでしたが、令和4年度以降はほぼ通常の開催となり、参加人数も目標値を超えた結果となり引き続き参画機会の充実を図ってまいります。

②体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合については、全国と比較して高い水準となっていますが、小5男女、中2女は目標値を下回る結果となり、運動・食・生活の各習慣の形成に向けた取り組みが必要です。

③県民体育大会出場種目数については、競技者の高齢化など様々影響し、目標値を下回る結果となり、競技者の底辺の拡大を図っていく必要があります。

④障がい者スポーツ普及イベント参加者数については、目標値を下回る結果とはなりませんが、徐々に増加してきているため、引き続き参画機会の充実を図ってまいります。

### 3 スポーツ活動の現状

本町では、町と矢巾町体育協会の主催による各種スポーツ大会を実施するほか、各競技団体による種目別大会やロードレース大会、総合型地域スポーツクラブ（楽々クラブ矢巾）の独自事業として様々な教室などを利用しながら開催しています。

また、高齢者などの介護予防、フレイル予防、認知症予防のための運動など、健康づくりのための運動の実践が取り組まれています。健康で充実した人生のためにスポーツや運動をいつでも、どこでも、楽しみながら行えるよう環境整備も進める必要があります。

さらに、スポーツ少年団への支援のほか、小中学生の東北、全国及び国際スポーツ大会派遣補助金の交付など、学校部活動を越えた世界に通じる人材の育成を行うために、スポーツに関わる人を支援し、スポーツに親しむ環境を整備する必要があります。

本計画の策定に向けて、町民のスポーツに関する実態や意向等を把握するため、次のような「矢巾町スポーツの推進に関する計画の策定に係るアンケート調査」を実施しました。その調査結果や意見等を踏まえて、町のスポーツ活動における現状と今後の課題をまとめました。

#### (1) アンケート結果から

アンケートの概要

「矢巾町スポーツの推進に関する計画の策定に係るアンケート調査」

矢巾町スポーツ推進に関する町民意識調査

～ アンケート調査の概略 ～

##### ① 調査の目的

矢巾町スポーツ推進計画を策定するにあたり、町民のスポーツに関する考えや実態を把握することを目的として実施した。

##### ② 調査設計

ア 矢巾町全体

イ 調査対象 令和5年11月1日現在で、満10歳以上の方

ウ 対象者数 1,000人

エ 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出

オ 調査方法 郵便による調査票配布・回答用紙回収

カ 調査期間 令和5年12月12日から令和5年12月28日まで

##### ③ 回答状況

ア 回答数 293 人 (≧279人以上 必要なサンプル数)

イ 回収率 29.3 %

##### ④ 集計方法について

ア 集計にあたっては、小数点第2位を四捨五入する。このため、合計が100%

にならない場合がある。

- イ 各設問の選択項目において、無回答も選択肢の一つと捉え、無回答も含め比率を算出する。
- ウ 回答の百分比(%)は、「回答数」を基数として算出した。複数回答も認める設問においては、「回答者数」と「回答数」が必ずしも一致しない。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 参 考 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

**【サンプリング調査の規模の正確性】**

サンプリング調査の対象が大きいくほど必要なサンプルサイズも多くなります。

例えば、回答していただく信頼性の許容範囲を±5%とした場合の必要なサンプルサイズは以下のとおりです。

母集団の数	必要なサンプル数
1,000	279
10,000	370
100,000	383
1,000,000	384
10,000,000	384
100,000,000	384

※計算上の理論数

許容誤差±5%、信頼レベル95%、回答比率50%

1万人を超えると、必要なサンプルサイズはあまり変化しない。

約400人程度のサンプルが確保できるとよい計算になる。

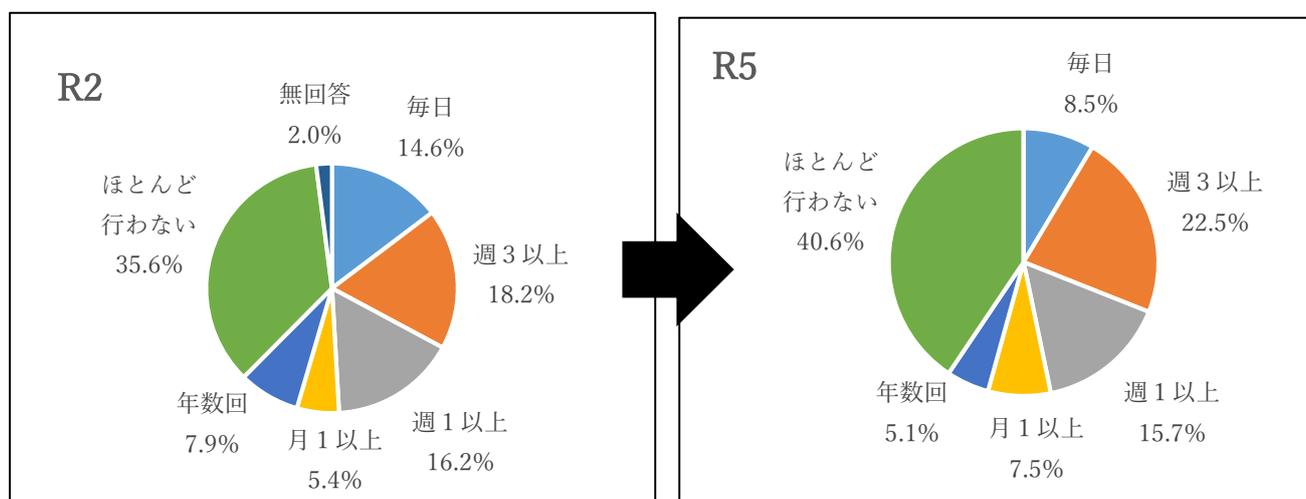
⑤ 現状と課題

矢巾町スポーツ推進に関する町民意識調査における現状と課題は以下のとおりです。

問（４）「運動などをどの程度行っているか」という質問について、「週１回以上行おう」と回答した方が 46.7%（前回 49.0%）であった一方で、「ほとんど行っていない」と回答した方は 40.6%（前回 35.6%）でした。

問（４）あなたは、運動などをどの程度行っていますか。

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 毎日	25	8.5	14.6	△ 6.1
2 週 3 以上	66	22.5	18.2	4.3
3 週 1 以上	46	15.7	16.2	△ 0.5
4 月 1 以上	22	7.5	5.4	2.1
5 年数回	15	5.1	7.9	△ 2.8
6 ほとんど行わない	119	40.6	35.6	5.0
7 無回答	0	0.0	2.0	△ 2.0
計	293	99.9	99.9	—



運動をほとんど行わないと回答した方のうち女性は 76.7%（前回 67.1%）であり、運動をしない・できない理由として「やりたいが時間がない」「やりたいが相手や機会がない」が多く挙げられました。

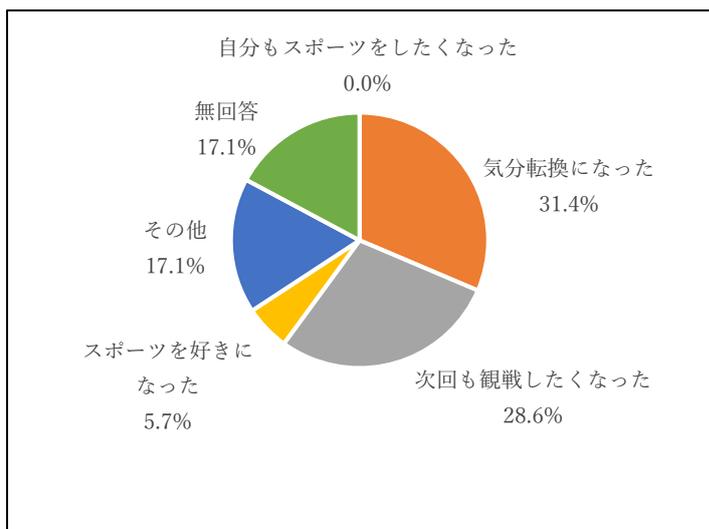
運動をほとんど行わないと答えた男性のうち、その理由として「やりたいが時間がない」と回答した方は 31.6%（前回 38.6%）でしたが、「関心がない」と回答した方も 21.1%（前回 14.0%）おり、無関心層をどのように取り込んでいくかが今後の課題であると言えます。

また、体調不良やけがなどを理由に運動ができないと回答した方も男女それぞれで約 20%（前回 20%）程度おり、体調に無理のない範囲で、様々な実情や体力レベルに合わせ

た運動方法の提案も必要であることがわかりました。

問（10・11・12）スポーツ観戦に関する質問については、問（4-4）の質問にて「運動は好きでない・運動に関心がない」と回答した方のうち、56.7%がテレビ・ラジオ・インターネット配信等でスポーツ観戦し、「気分転換・ストレスが解消した」「次回も観戦したくなった」「スポーツや運動を好きになった」と66.0%の方が回答されており、「みる」ことでスポーツに対する関心の向上が期待されます。

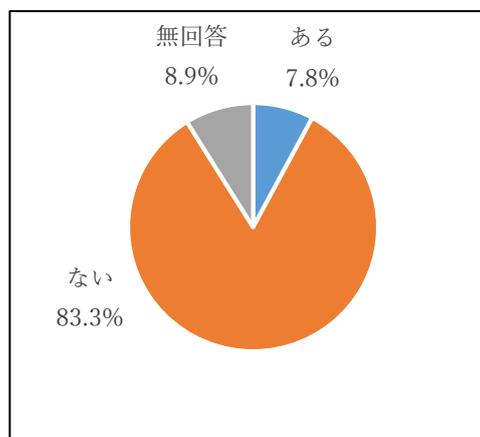
※問（4-4）の質問で「運動は好きでない・運動に関心がない」と回答した方（n=33人）の回答



問（13）「スポーツに関する指導・ボランティア等をおこなったことがあるか」という質問について「ある」と回答した方は7.8%と低い数値となっており、今後地域でのスポーツを支える人材の確保と育成が課題であります。

問（13）この1年間でスポーツに関する指導・ボランティア等を行ったことがありますか。

選択項目	回答数	構成比(%)
1 ある	23	7.8
2 ない	244	83.3
3 無回答	26	8.9
計	293	100

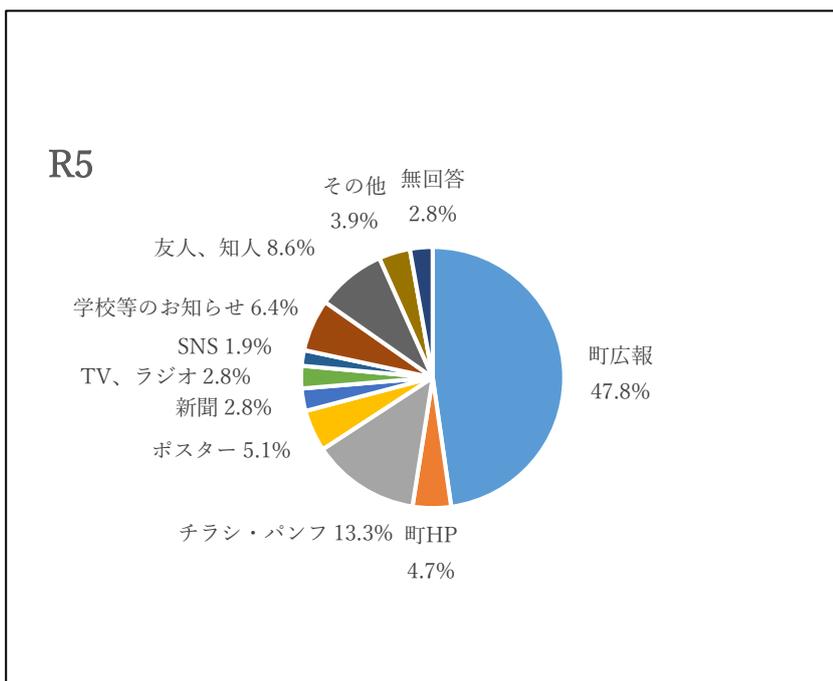


問（14）「矢巾町で行われるスポーツイベント情報をどのような方法で入手しているか」という質問について、「町広報誌」と回答した方が47.8%で、「チラシ・パンフレット」が13.3%と続き、紙媒体からの情報を得ている方が多いことがわかりました。

スポーツや各教室に関する情報を広報誌等で引き続き発信していくとともに、運動に関心がない方に対しては異なる分野からのアプローチ（例えば食・美容・健康×運動、防災×運動、子育て×運動など）を検討し、「新しい運動の在り方」を考えながら興味、関心を引き出すことが必要と考えられます。

問（14）あなたは、矢巾町で行われるスポーツイベント情報をどのような方法でお知りになりましたか。（複数回答）

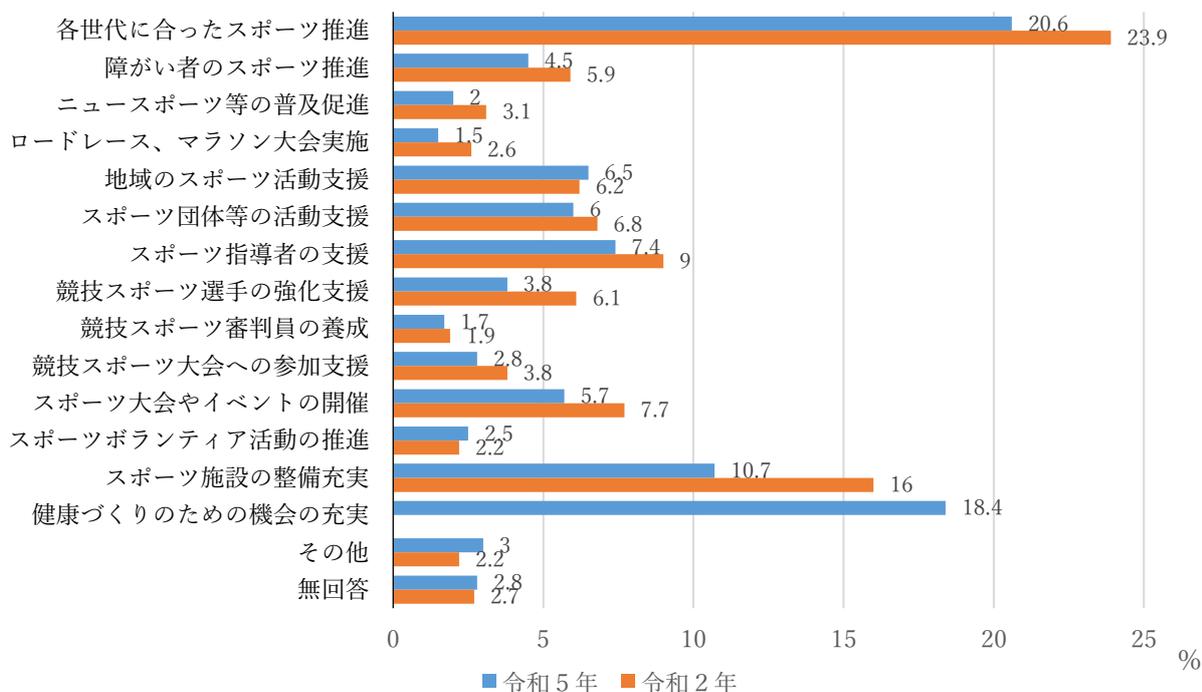
選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 町広報	223	47.8	54.3	△ 6.5
2 町HP	22	4.7	1.6	3.1
3 チラシ・パンフレット	62	13.3	8.8	4.5
4 ポスター	24	5.1	6.4	△ 1.3
5 新聞	13	2.8	2.4	0.4
6 TV、ラジオ	13	2.8	4.8	△ 2.0
7 SNS	9	1.9	1.1	0.8
8 学校等のお知らせ	30	6.4	4.5	1.9
9 友人、知人	40	8.6	6.4	2.2
10 その他	18	3.9	5.1	△ 1.2
11 無回答	13	2.8	4.6	△ 1.8
計	467	100.1	100	—



問(18)「矢巾町のスポーツ推進について何が重要だと思うか」という質問では、「各世代に合ったスポーツの推進」と回答した方が20.6%、次に「健康づくりのための機会の充実」と回答した方が18.4%と多く、勉強や仕事、子育てや介護の状況や、自分自身の健康状態などをしっかり理解した上で、それぞれの世代と生活スタイルに合わせたスポーツの推進を行っていきける環境が求められていると言えます。

問(18) あなたは矢巾町のスポーツ推進について、何が重要だと思われますか。(複数回答)

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 各世代に合ったスポーツ推進	123	20.6	23.9	△ 3.3
2 障がい者のスポーツ推進	27	4.5	5.9	△ 1.4
3 ニュースポーツ等の普及促進	12	2	3.1	△ 1.1
4 ロードレース、マラソン大会実施	9	1.5	2.6	△ 1.1
5 地域のスポーツ活動支援	39	6.5	6.2	0.3
6 スポーツ団体等の活動支援	36	6	6.8	△ 0.8
7 スポーツ指導者の支援	44	7.4	9	△ 1.6
8 競技スポーツ選手の強化支援	23	3.8	6.1	△ 2.3
9 競技スポーツ審判員の養成	10	1.7	1.9	△ 0.2
10 競技スポーツ大会への参加支援	17	2.8	3.8	△ 1.0
11 スポーツ大会やイベントの開催	34	5.7	7.7	△ 2.0
12 スポーツボランティア活動の推進	15	2.5	2.2	0.3
13 スポーツ施設の整備充実	64	10.7	16	△ 5.3
14 健康づくりのための機会の充実	110	18.4	—	—
15 その他	18	3	2.2	0.8
16 無回答	17	2.8	2.7	0.1
計	598	99.9	100.1	—



## (2) 障がい者のスポーツ活動について

障がい者のスポーツ活動は、特定の人、その場限りといった形態が多く、町の社会体育施設においても、障がい者の個人利用数はあまり多くありません。障がい者の皆さんに様々なスポーツを楽しんでもらい、気軽にスポーツ活動へ参加できるよう支援するとともに、社会体育施設のバリアフリー化の推進と利用料等の無料化を実施していきます。

## (3) 社会体育施設、スポーツ施設について

本町では、町民総合体育館や総合グラウンド、かっこうグラウンドなどの社会体育施設や小中学校の体育施設を配置しています。

しかし、社会体育施設や小中学校の体育施設を含む公共施設全般の老朽化対策は大きな課題となっており、厳しい財政状況と人口減少等が予想される中では、長期的な視点をもって、更新・集約化・長寿命化などを計画的に行い、施設総量の適正化・適正配置を実現することが求められております。

(施設一覧、個別の施設詳細は、資料編に添付の施設毎カルテを参照)

カルテ番号	施設名	所在
1	矢巾町民総合体育館	矢巾町大字南矢幅第13地割118番地
2	矢巾地区農業構造改善センター	矢巾町大字土橋第8地割104番地
3	矢巾町農村環境改善センター	矢巾町大字室岡第11地割132番地1
4	矢巾町立徳田小学校体育館	矢巾町大字西徳田第6地割53番地
5	矢巾町立煙山小学校体育館	矢巾町大字北矢幅第1地割2番地
6	矢巾町立不動小学校体育館	矢巾町大字室岡第12地割50番地
7	矢巾町立矢巾東小学校体育館	矢巾町医大通二丁目3番1号
8	矢巾町立矢巾中学校体育館	矢巾町大字白沢第5地割220番地
9	矢巾町立矢巾北中学校体育館	矢巾町大字上矢次第7地割115番地
10	矢巾町屋内ゲートボール場	矢巾町大字煙山第2地割94番地3
11	矢巾総合射撃場	矢巾町大字和味第2地割106番地14
12	矢巾町総合グラウンド	矢巾町大字煙山第6地割152番地
13	矢巾町屋外運動場 (かっこうグラウンド)	矢巾町大字南矢幅第13地割16番地5
14	広宮沢公園	矢巾町流通センター南一丁目1番
15	鹿妻公園	矢巾町流通センター南二丁目1番2号
16	矢巾町屋外ゲートボール場	矢巾町大字煙山第2地割81番地1
17	ペタンク広場	矢巾町大字煙山第1地割13番地
18	ゆうゆう広場	矢巾町大字室岡第9地割55番地6
19	矢巾町営キャンプ場	矢巾町大字煙山第3地割14番地2

#### (4) 総合型地域スポーツクラブについて

本町では現在、楽々クラブ矢巾が、種目を越えた地域スポーツの担い手として活動をしています。

県のスポーツ推進計画では、各市町村において更なる創設や育成を支援することとしておりますが、本町においても支援及び協働で事業を実施してまいります。

国の指針では、クラブの自立的な運営を促進する環境を整備するとともに、地域に根ざしたクラブとして定着していくための取り組みが必要とされています。

#### (5) 町内のスポーツ関係団体について

矢巾町体育協会は、矢巾町内における体育・スポーツを振興することによって、町民の心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に寄与することを目的として、設立されました。

令和5年4月1日現在、31団体（競技種目団体）が加盟しており、加盟団体と協力して県民体育大会や各種スポーツ大会を実施するなど、町民の競技及び生涯スポーツの推進に努めています。

#### (6) スポーツ推進委員・体育振興委員について

本町のスポーツ推進委員の人数は令和5年4月現在で12名となっており、町内各地において開催されるスポーツイベントや教室の実施に係る連絡調整のほか、スポーツの実技指導や助言を行うなど、本町のスポーツの推進に重要な役割を担っていますが、今後活動を続けていくための担い手不足が懸念されます。

また、本町では独自の取り組みとして、行政区ごとに合計41名の体育振興委員を配置しており、町民スポーツ大会や、町が実施するスポーツ活動への協力などをおして、多くの町民へスポーツ活動の場を提供しています。

#### (7) 選手の育成・強化について

岩手県において、世界で活躍するトップアスリートとなる人材を発掘・育成することを目的とした、「いわてスーパーキッズ」の取り組みを進めています。

本町でも、「いわてスーパーキッズ」に認定され、そこでの活動を修了した選手の国際舞台等での活躍が期待されているところです。

また、本町においても、一人でも多く、認定されるように普段からのスポーツ活動を積極的に取り組んでいくことや、矢巾町版スーパーキッズなどにより、将来活躍が期待できるアスリートの養成を行い世界に挑戦できる人材の育成も必要になってきます。

なお、岩手県民体育大会の出場競技数は横ばいですが、各界の競技スポーツ人口が減ってきています。その出場者のほとんどが働きながら競技を続けている社会人です。町内企

業等を始めとした、働きながらも競技に専念できるような環境にするべく、働きかけていきます。

#### **(8) スポーツによる経済効果、スポーツ・ツーリズムについて**

本町には、魅力ある自然や文化を活かした観光資源が豊富にあることから、多くの人々に来町していただき、地域経済の活性化につなげたいものです。

これに加え、スポーツによる経済効果に着目し、スポーツへの参加や観戦を目的として地域を訪れたり、アスレチックや野外活動等を含め地域資源とスポーツを掛け合わせた観光を楽しんだりする「スポーツ・ツーリズム」を推進していく必要があります。

### **4 スポーツ活動の課題**

#### **課題1 児童生徒の体力づくり**

本町の児童生徒の体格や体力等について、令和5年度の全国体力運動能力、運動習慣等調査では、体格では全国及び県と比較しても大きな差異はありませんが、運動していない、あるいは保健体育の授業が好きではないという意見もあることから、今後さらに運動やスポーツへの興味や関心を高めることが重要となります。（詳細は資料編参照）

また、スポーツ団体からは、「子どもたちがスポーツ活動に参加しなくなってきた。スポーツは楽しいものであるということを大人や指導者が教えるために、各種団体が連携を図っていく必要がある」「子どもたちが、スポーツ嫌いにならない学校体育のあり方や、楽しいスポーツを体験できる場の提供について検討する必要がある」などの意見も聞こえてきています。

保育園、こども園、幼稚園、児童館等における幼児期からの運動習慣を高める取り組みや、学校、地域、家庭が一体となって子どもの体力の向上に取り組んでいく必要があります。

#### **課題2 働く世代の運動習慣の形成**

今回のアンケートの結果では、月1回以上運動等をしている町民の割合が54.3%（前回54.4%）となっており、半分程度の割合になっています。さらに、身近でスポーツ・運動ができる仕組みづくりや、親子や家族で参加できるスポーツ機会の拡充など、働く世代や子育て世代が比較的軽い運動を中心とした、運動習慣を身につける意識の啓発をさらに実行していく必要があります。

#### **課題3 高齢者の健康増進、体力の維持・向上**

団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）になる2025年頃までには、介護・医療保障が急増し、その他の派生的な問題が生じることが懸念されています。本町は県内では高齢化率が

2番目に低い状態になっていますが、今後団塊ジュニアが65歳を迎える2040年を踏まえ高齢化の問題は避けられない問題です。

今後も高齢者のからだやこころの特徴に合わせた安全な運動やスポーツ活動を提供するために、健康づくり・介護予防・認知症予防の観点から、高齢者が健康でいきいきと暮らすことができる環境づくりを行っていく必要があります。

#### **課題4 障がい者のスポーツ参加及び町民への普及啓発**

スポーツ団体及びスポーツ施設と障がい者団体とは直接的な結びつきはあまり無い状態です。今後は、障がい者スポーツの現状を把握しながら、団体同士をつなぎ、活動の場を提供集約するなど、様々なスポーツ教室を開催し、障がい者の社会参加活動を促進する必要があります。

また、障がい者団体ではスポーツ活動はしているものの、情報をうまく発信できていない現状もあることや、町や団体が連携して障がい者がスポーツに触れる機会を拡充していくとともに、障がい者スポーツの指導員の育成や、ボランティアの確保などに取り組んでいくことが必要となっています。

さらに、障がい者のスポーツ競技に限らず、地域社会との活発な交流を通じて、分け隔てない共生社会を推進し、障がい者スポーツに対する町民の理解促進のための普及啓発も必要です。

#### **課題5 家庭・学校・地域などが連携したスポーツをする機会の拡充**

児童のスポーツ活動については、児童数の減少などによりスポーツ少年団及びスポーツクラブが縮小している状況も見受けられます。また、保護者の事情により、子どもがスポーツをする機会が少なくなっている状態もあります。

誰もが身近な地域で気軽に運動やスポーツができる環境づくりが課題ですが、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブが調整役となるなど、家庭・学校・地域が一体となって、地域でスポーツができる環境づくりを推進していく必要があります。

#### **課題6 トップアスリートとのスポーツ交流**

トップアスリートを育成するには、様々な競技人口の拡大とジュニア競技者の技術力の向上を図るとともに、指導者の資質向上が課題となっています。

また、トップアスリートと町民の交流等を促進していく必要があります。

#### **課題7 社会体育施設及び学校施設などの効率的活用、身近な場の整備**

町の社会体育施設や学校施設の利用状況については、十分に利用できないという声もあり、現状に満足していない状況もあることから、町民の利便性を踏まえた整備の計画が必

要です。

一方で、新たな施設の整備には限界があることから、既存施設の効率的な活用を検討するとともに、県や大学などの体育施設と連携した施設利用等の検討も必要となってきます。

#### **課題8 スポーツを支える人材の育成・確保**

児童のスポーツ活動などにおいては、加入者が少ないことによる団体等の維持が困難であるほか、指導者の確保も課題になります。

また、国の調査においても、スポーツ団体における女性指導者や役員の割合が低いという報告もあり、各団体における登用の促進に向けた取り組みを検討する必要があります。年代や性別、障がいの有無に関わらず、地域でのスポーツを支える人材として、指導者の果たす役割は大きいことから、地域のニーズに即した人材の確保と育成が必要です。

#### **課題9 地元スポーツチームの応援**

地元スポーツチームの成長は、地域に新たな活力を生み出すことから、チームの活動を支援するとともに、多くの町民と一体となり活動を盛り上げていく必要があります。

#### **課題10 スポーツ活動の情報発信**

各種スポーツ団体の紹介やイベント情報を、町や体育協会のホームページから発信することや、各種団体のイベント情報をチラシなどで学校へ配布、町広報紙で、定期的の特集記事を組んだり、わかりやすく情報を町民に伝える方法を検討する必要があります。

また、町においては、スポーツに関する情報収集や実態把握を日頃から行うとともに、発信していくことが求められます。

#### **課題11 スポーツ・ツーリズムの推進**

スポーツ・ツーリズムは経済効果が見込まれる大事な分野であることから、盛岡広域スポーツコミッションなどとの連携した活動も必要です。

本町の自然や歴史、文化、伝統を活かした観光資源を、全国に発信し、スポーツと観光を組み合わせたスポーツ・ツーリズムを推進することにより、観光分野への波及効果による地域の活性化を図る必要があります。

#### **課題12 デジタル技術を活用したスポーツへの取り組み**

近年話題となっているeスポーツは子どもから高齢者、障がいがある人もない人も幅広い層で参加できるスポーツ競技として捉えられていることから、本町でも取り組んでいく必要があります。

## 第4章 推進施策への具体的な取り組み

### 1 推進施策と推進計画の取り組み

具体的な推進施策ごとに重点的な取り組みと、その取り組みを具体的に進めるための推進計画（具体的な事業）を示しました。

#### I 「する」スポーツ

##### 推進施策1 それぞれの年代等に応じたスポーツ活動の推進

《重点的な取り組み》

###### (1) 子どもたちのスポーツ活動への参加促進

スポーツは、生涯にわたり心身ともに健康に生きるための基礎となるものであることから、(※) キンダースポーツなど幼児期から身体を使った遊びを取り入れることにより、運動習慣の定着化を図り、子どもたちがスポーツを楽しみ、親しむことができる環境の整備を図ります。

また、子どもたちがスポーツをするうえで、保護者の果たす役割は大きいことから、たくさん子どもたちがスポーツに親しむことができるよう、活動にかかる負担や経済的な負担の軽減に努めます。

推進計画（具体的な事業）

###### ○子どもたちのスポーツ体験・運動遊びの場づくり

（児童のスポーツ環境整備を支援）

- ・矢巾町体育協会や総合型地域スポーツクラブを中心とした町内のスポーツ団体が、野球やサッカーをはじめ、中学校において必修科目となったダンスなど、様々なスポーツを気軽に体験できる環境を提供します。（例：野球、サッカー、バスケ、ダンス等）
- ・子どもたちに適切な指導のできる人材を育成できるよう、指導者育成講習会を実施します。

（幼児の体育、運動支援）

- ・町内の幼児を対象に運動遊びの場の提供と、キンダースポーツ等の推進を図ります。

---

【キンダースポーツ】幼児期に体操やボール遊び、マット運動など様々な運動遊びを通じて、多くの「運動動作」を体験して「脳の指令どおりに身体が動く」ための経験値を高め自主性、積極性、協調性などを学ぶスポーツ。

## ○スポーツ少年団・部活動への支援

(スポーツ少年団支援)

- ・スポーツ少年団への入団登録料、スポーツ少年団認定員養成講習会受講料にかかる経費の一部を補助します。

(スポーツ少年団運営事業)

- ・スポーツ少年団が行う国際交流及び交歓交流、各種研修会及び講習会への派遣や、奉仕活動にかかる経費の一部を補助します。

(小中学校部活動において県、東北、全国及び国際スポーツ大会などの派遣にかかる費用補助：教育委員会)

- ・参加者保護者の経済的負担の軽減を図るため、大会の開催内容に応じ補助金を交付します。

(中学校部活指導員派遣事業)

- ・中学校の部活動において、指導のために外部指導者を派遣します。

(部活動の地域移行)

- ・中学校の休日における運動部活動の地域移行に向け関係機関と協議しながら進めます。

## ○バランスのとれた児童のスポーツ活動の推進

(児童の部活動及び地域スポーツ活動の周知)

- ・アンケート調査の結果や国のガイドライン等を参考に、児童の部活動や地域スポーツ活動を適正に推進し、保護者や学校、スポーツ少年団の指導者等へ周知します。

## (2) 働く世代のスポーツ活動の推進

アンケート調査では、様々な条件により運動を行う機会が確保できない割合が高い状態であることがみられますが、国の体力・運動調査では、運動・スポーツの実施頻度と体力について、20歳以降のほとんどの年代で、運動等を実施する頻度が高いほど体力水準も高い傾向を示しています。

運動等の実施頻度が高いほど体力水準が高いという関係は、男女ともにほとんどの年齢で認められ、運動・スポーツの実施頻度は、生涯にわたって体力を高い水準に保つための重要な要因の一つであると考えられることから、それぞれの体力や趣味にあわせた運動習慣の定着と普及啓発に対する取り組みが必要となっています。

スポーツをする時間がない人のために、通勤途中や職場、家庭の中で、「ウォーキング」、「ジョギング」、「サイクリング」など、気軽に取り組むことができる運動の普及啓発を図ります。

推進計画（具体的な事業）

○各種スポーツイベント・教室の開催・支援

（町民のスポーツ参加機会創出）

- ・矢巾町民スポーツ大会、各種団体種目別競技、矢巾町ロードレース大会など、町民の健康増進や、体を動かすきっかけづくりにつながる各種スポーツイベントを開催します。

（（※）健康チャレンジ事業の推進）

- ・普段の生活に計測と運動を取り入れ、働く世代も取り組みやすい健康チャレンジ事業を推進します。

（競技以外のスポーツイベント・教室の推進）

- ・ウォーキングなどのイベント、親子を対象とした教室を開催し健康づくりへの意識高揚につなげます。

---

【健康チャレンジ事業】町民の皆さんの健康づくりを支援するため、活動量計をお持ちいただき、自分の歩数や消費カロリーを確認しながら、「はかる、わかる、きづく、かわる」ことを合言葉に、楽しみながら目標をもって続けられる、健康づくりに取り組む事業。

### (3) 高齢者の健康づくり・スポーツ活動の推進

アンケート調査では、月1回以上軽スポーツ等をしている町民の割合が年齢を重ねるとともに減少傾向になっています。しかしながら、健康志向の高まりのもと、各種スポーツ・レクリエーションや趣味活動により生きがいを感じている高齢者が増えています。

高齢者の健康づくりを推進し、活力ある長寿社会を実現するために、年齢や体力、健康状態に応じて安全管理を図りながら、様々なスポーツ・レクリエーション活動が行える場の確保に努めます。

#### 推進計画（具体的な事業）

##### ○各種スポーツイベント・教室の開催・支援

（町民の健康づくりの場参加機会創出）

- ・町民が気軽に軽運動ができる運動場や、体を動かすきっかけづくりにつながる各種スポーツ運動器具など、要望をお聞きしながら整備します。

（健康づくりを目的とした体操教室などを引き続き実施）

- ・シルバーリハビリ体操の参加者を増やすことや、指導者（やはばりハさわやかの会）を養成し、通いの場体操クラブの設立運営支援を行い、高齢者の（※）フレイル予防、（※）ロコモティブシンドローム予防、（※）サルコペニア予防を推進します。

---

【フレイル】 健常から要介護へ移行する中間の段階と言われています。具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指す。

【ロコモティブシンドローム】 「運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態」のことを表し、2007年に日本整形外科学会によって新しく提唱された概念です。略称は「ロコモ」、和名は「運動器症候群」と言われる。

【サルコペニア】 体の筋肉量が減少して筋力低下や、身体機能低下をきたした状態を指します。具体的には、歩くのが遅くなる、手の握力が弱くなるなどといった症状が現れるようになります。超高齢社会に突入している日本においてサルコペニアは問題となっており、転倒や骨折、寝たきりなどにより生活の質を著しく低下させる懸念があります。サルコペニアを予防するためには、栄養のバランスの取れた食事と適度な運動を心がけて日常生活を送ることが大切であると考えられる。

## ○高齢者の運動習慣実施の推進

(高齢者健康教室の開催)

- ・専門スタッフの指導のもと、介護予防に効果的なシルバーリハビリ体操以外にも、ヨガや栄養指導など行われている教室や住民が主体となって地区の公民館などに気軽に集まり、健康体操やレクリエーションを行う「地域の居場所」での活動も推進します。

(健康・生きがいをづくり推進事業)

- ・各種団体や任意団体、個人活動において高齢者の健康の保持増進、生きがいをづくり、交流を目的に、「グラウンド・ゴルフ」、「ペタンク」、「ゲートボール」など気軽に取り組める競技や運動は、町内にある運動施設（庁舎前、町保健福祉交流センターの芝生、ゲートボール場、ペタンク場、祝咲喜公園）で気軽に運動することができることから利用環境の整備を図ります。

## (4) 障がい者スポーツの推進

スポーツ活動は、障がいの有無に関わらず、健康増進や体力の向上、生きがいをづくりに大きな効果があることから、障がい者が気軽にスポーツ活動に参加できるよう支援します。

また、障がい者スポーツを推進するためには、障がい者スポーツに対する町民の理解や協力が必要であることから、障がいの有無や年代の垣根を越えてスポーツ活動を楽しめる共生社会の実現に向けた取組を行います。（※インクルーシブな社会）

推進計画（具体的な事業）

### ○障がい者のスポーツ体験の場づくり

(障がい者スポーツ支援事業)

- ・障がい者が気軽にスポーツを体験できる環境の整備を図るとともに、競技力の向上や健康増進につなげるため、矢巾町社会福祉協議会と連携し各種団体が実施する大会や教室などの運営を支援します。

(町民のスポーツ参加機会創出事業)

- ・町内の各障がい者団体や岩手県などと連携し、スポーツ活動やレクリエーションの場を提供する機会などに積極的に参加できるよう引き続き支援します。

---

【インクルーシブな社会】お互いを理解し、尊重しあえる共生社会、全てのものを包括的に包み込み、全ての人がいきいきと生活できる分け隔ての無い社会。

○障がい者スポーツ活動への参加促進

(社会体育施設のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進)

- ・障がい者の利便性及び安全性が向上するよう、社会体育施設の（※）バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進を図ります。

(各種障がい者スポーツ大会への支援)

- ・障がい者を対象とした各種スポーツ大会に積極的に参加できるよう情報を提供し、参加促進を引き続き支援します。

(スポーツ団体への協力創出事業)

- ・障がい者スポーツのイベントや各団体の活動を町民へ周知し、ボランティアや支援していただける体制を整備します。

○障がい者スポーツの普及・啓発

(東京オリンピック・パラリンピックを契機とした創出事業)

- ・パラリンピアン等の講演等を通して、町民の障がい者スポーツへの認知と理解を深めるとともに、小中学生などを対象とした交流の充実を図ります。

---

【バリアフリー】高齢者、障がい者等が生活していくうえで障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報面での障壁などすべての障壁を除去する考え方です。

【ユニバーサルデザイン】文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障がいの有無、能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）。

## 推進施策2 競技スポーツの推進

### 《重点的な取り組み》

#### (1) トップアスリートの活用による競技スポーツの振興

トップアスリートによる試合の開催やプロスポーツ団体を誘致することによりホームタウンとして年間とおして活動を行うことにより、一流のプレーに触れ、町民のスポーツへの関心を高め、競技スポーツ人口の底辺拡大やジュニア競技者及び指導者の育成につなげます。

### 推進計画（具体的な事業）

#### ○トップアスリートによる競技スポーツ人口の底辺拡大と技術力・指導力の向上

（プロスポーツ競技試合の誘致とプロスポーツ団体ホームタウン誘致事業）

- ・当町において、様々なプロスポーツ競技の試合を誘致できるように働きかけます。  
また、プロスポーツ団体の活動拠点（ホームタウン）として団体を誘致することにより、小中学生や高校生、一般の町民が一流のプレーを身近に見て、肌で感じることで、様々なスポーツへの波及効果により競技意欲を高めることを目指します。

（スポーツ医学連携事業）

- ・県内の大学や医療関係団体等との連携により、アスリートの競技力向上につながるスポーツ栄養、トレーニング等のスポーツ医・科学の知識に関する情報提供を行います。

（スポーツ合宿誘致事業）

- ・トップアスリートが所属するチーム（企業や大学など）の合宿を誘致し、ジュニア競技者等が一流の技術に触れる機会の創出を図るとともに、トップアスリートと交流する場を設け、町民のスポーツへの関心を高めます。

#### (2) スポーツ団体・選手への側面的な支援

各種スポーツ団体等が企画運営する大会や教室、講演会等の開催を支援するとともに、ジュニア競技者のレベルアップにつながる経費の一部を支援し、全国大会等で活躍できる競技者の育成と環境の整備に努めます。

また、スポーツ大会において優秀な成績を収めた個人や団体へ表彰を行い、その榮譽をたたえることにより、さらなる競技スポーツの発展を目指します。

### 推進計画（具体的な事業）

#### ○各種競技スポーツの振興

（各種スポーツ団体を実施する大会等にかかる事業費補助）

- ・競技大会や教室などの運営にかかる経費を補助します。

小中学校の部活動における県、東北、全国及び国際スポーツ大会参加にかかる費用の補助を行います。（再掲）

- ・参加者またはその保護者の経済的負担の軽減を図るため、大会の開催地に応じ補助金を交付します。

#### ○スポーツ顕彰制度

（矢巾町スポーツ賞の実施：矢巾町体育協会表彰）

- ・スポーツ大会において優秀な成績を収めた町民等への表彰を行うとともに、その活動を広く周知します。

#### （3）少子化による競技スポーツの影響に対する支援

少子化の影響により、団体スポーツにおいて単一団体によるチーム編成が困難となり、複数団体でチーム編成をしているチームが増加していることから、各スポーツ団体と連携し、情報共有と発信に努め、活動維持に努めます。

推進計画（具体的な事業）

#### ○各種スポーツ団体との連携強化

（スポーツ団体連携事業）

- ・定期的に町内のスポーツ団体等との意見交換を行うなど情報共有を図るとともに、各団体の情報や活動内容の町民への発信と広報について支援します。

### 推進施策3 スポーツ環境の整備・活用（社会体育施設の改修と利活用）

《重点的な取り組み》

#### （1）社会体育施設の整備・検討

老朽化が進んでいる社会体育施設については、多種多様な町民ニーズに応え、利用して頂くために、町民や競技団体等から寄せられている要望や、町で取り組んでいる公共施設等長寿命化計画の観点から、周辺市町との状況、施設利用連携にも配慮し、施設の更新や集約化、長寿命化などを総合的に検討します。

推進計画（具体的な事業）

#### ○利用者ニーズに沿った社会体育施設の整備

（社会体育施設の整備）

- ・建物や付帯設備の老朽化が進行しているため、利用者が施設を安心して使用できるよう適切な整備を図ります。
- ・風雨雪などに影響されない、多目的室内運動施設や、屋内温水プールの設置、国際大会などが開催可能な総合運動施設の整備などを推進します。

(個別施設計画の策定)

- ・町民等からの要望や、町で取り組んでいる公共施設等長寿命化計画の観点から、各体育館や運動施設の集約化や改修による長寿命化などを検討します。

(社会体育施設のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進)

- ・障がい者の利便性及び安全性が向上するよう、社会体育施設のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進を図ります。(再掲)

## (2) 学校施設開放の推進

本町においては、町民のスポーツ活動の普及や振興のため、学校教育に支障のない範囲で学校施設を開放しており、さらなる有効活用に向けた検討を進めていきます。

推進計画(具体的な事業)

### ○学校体育施設の有効活用

(学校施設開放事業)

- ・教育委員会と連携し、町民への開放状況を把握し、それぞれのスポーツ事情を踏まえた学校施設の有効活用について検討していきます。
- ・新設される県立高校の体育施設が町民へ開放されることから有効的な活用を検討してまいります。

(未利用施設の有効活用)

- ・地元スポーツチームやプロスポーツチームの誘致、総合型地域スポーツクラブなどの活動を支えるため、未利用施設や学校施設の統廃合などにより活用が可能となる体育施設の有効活用を検討します。

## (3) 様々な体育施設とのネットワークの構築

町内には、県立学校や岩手医科大学などの体育施設があり、町民に対して様々な健康増進活動やイベント会場、スポーツ活動の場を提供しています。このような施設とネットワークを構築することにより、さらなる有効活用について検討を進めていきます。

推進計画(具体的な事業)

### ○様々な体育施設等の有効活用

(様々な体育施設とのネットワークづくり)

- ・町民ニーズを捉えたスポーツ活動の場を提供するため、既存施設の有効利用を図りながら県や大学、民間事業者等との連携を図り、様々な体育施設等の活用に向けたネットワークの構築について検討していきます。

## Ⅱ 「みる」スポーツ

### 推進施策1 プロスポーツ等とのふれあい

《重点的な取り組み》

#### (1) プロスポーツやトップアスリートによる試合の誘致活動の活発化

より多くの町民が様々なプロスポーツに触れ、スポーツの素晴らしさや楽しさを味わえるよう、様々な競技のプロスポーツ団体やプレイヤーに来町していただき、デモンストレーションでの試合や指導を頂く機会をつくります。

また、トップアスリートが合宿地などに利用するよう誘致に向けて取り組みます。

推進計画（具体的な事業）

#### ○プロスポーツの観戦機会の確保・拡充

（プロスポーツ等とのふれあいの場の創出）

- ・町民が、プロスポーツを肌で感じることができるよう環境づくりを推進します。
- ・プロスポーツが利用できるような施設や設備を確保することや、安全面や運営面に配慮した整備を計画的に進めます。

（様々なプロスポーツの誘致）

- ・スポーツに対する町民のニーズを把握するとともに、より多くの町民がスポーツの素晴らしさを感じることができるよう、地域にあるプロスポーツ団体を誘致することや、プロスポーツ競技を通して、競技レベルの向上が図られるよう機会の創出を検討していきます。

#### (2) 全国大会等が開催しやすい受け入れ体制の構築

本町の体育施設では、全国大会等の公式試合ができる種目が少ないことから、可能な限り、実施できる競技の全国大会開催の招致や支援を行うなど、ハイレベルな大会が開催しやすい体制の構築に努めます。

推進計画（具体的な事業）

#### ○国、東北、県レベルの大会への取り組み

（国等の大会開催のための受け入れ体制の構築）

- ・スポーツ団体と連携し、国や東北大会、県レベルの様々な大会を誘致し、今後の施設整備においては、全国大会等の開催が可能な施設や設備の設置を行うことや、様々な選手等の受け入れ体制について検討していきます。

#### ○全国大会等への開催支援

（各種スポーツ団体が実施する大会等にかかる事業費補助：再掲）

- ・競技大会や教室などの運営にかかる経費の一部を補助します。

### Ⅲ 「ささえる」スポーツ

#### 推進施策1 未来を担う人材の育成

《重点的な取り組み》

##### (1) 大学や医療機関と連携した人材育成の推進

大学などの教育機関や医療機関と連携し、スポーツ医科学の知見を生かした施設整備の検討やスポーツ指導者、スポーツ推進委員を対象とした研修の実施、必要な経費の補助をとおして、質の高い指導や適切な対応が行えるようスキルアップを図ります。

推進計画（具体的な事業）

##### ○スポーツ医科学センターの設置

- ・本町には、岩手医科大学附属病院が開院されており、日々、専門的な学問と医療が研究されています。スポーツ医科学に基づく、町民の健康づくりの推進、スポーツの振興及び競技選手の競技力向上のために、同大学及び病院と連携した「スポーツ医科学センター」の設置が町内に望まれるものです。

そのため、岩手県スポーツ推進計画で整備が予定されているスポーツ健康科学センターについて、盛岡広域圏の中で検討を進めながら本町への誘致を進めます。

##### ○スポーツ指導者、スポーツ推進委員の育成と資質向上

(スポーツ環境整備支援)

- ・質の高い指導や適切な対応が行えるよう、指導者向けにドーピング、パワーハラスメント、暴力行為等の未然防止に向けた研修の機会を提供します。

(教育機関や医療機関とのネットワーク構築)

- ・大学生などの若い世代や、医療機関と連携したスポーツ医学等の専門性を活かした指導者の育成に向けたネットワーク構築を進めます。

(障がい者スポーツに関わる人材の育成)

- ・障がい者スポーツの普及を図るうえで、実際に指導や支援にあたる人材の育成に取り組みます。

##### (2) スポーツボランティア制度に向けた取り組み

より多くの町民が、ボランティアとして気軽にスポーツに参画できるよう、関係機関と連携し、指導者や審判員を含めたスポーツボランティアの人材の育成に向けて取り組みます。

推進計画（具体的な事業）

##### ○スポーツボランティア制度の設置に向けた取り組み

(スポーツボランティア制度の設置)

- ・各種イベントに必要なボランティア情報の発信をするとともに、スポーツボランティア制度の設置に向けて取り組みます。

### (3) 総合型地域スポーツクラブとの連携

新たな地域スポーツの担い手や、地域コミュニティの核としての役割を果たす総合型地域スポーツクラブとの連携を強化し、地域が抱える課題の解決に向けて協働で取り組みます。

#### 推進計画（具体的な事業）

##### ○総合型地域スポーツクラブとの連携強化

（スポーツ団体交流事業）

- ・定期的に町内のスポーツ団体等との意見交換を行うなど情報共有を図るとともに、各団体の情報や活動内容の町民への発信と広報について支援・協力します。

##### ○地域が抱える課題への取り組み

（児童のスポーツ環境整備支援事業：再掲）

- ・総合型地域スポーツクラブを中心とした町内のスポーツ団体が、野球やサッカーをはじめ、中学校において必修科目となったダンスなど、様々なスポーツを気軽に体験できる環境を提供します。（例：野球、サッカー、バスケ、ダンス等）
- ・子どもたちに適切な指導のできる人材を育成できるよう、指導者育成講習会を実施します。

## 推進施策2 地元スポーツチームの応援

《重点的な取り組み》

### (1) 地元アスリートやスポーツチームの活動支援

本町出身のアスリートや地元スポーツチームの活躍は、地域に感動を与えます。また、勝利の喜びを分かち合い、ともに成長し合うなど、多くの好循環を生み出します。

このように、近年の本町スポーツ界を取り巻く環境は大きく変化してきています。

本町においては、スポーツを通じた地域活性化を目的に様々な活動を行う必要がありますが、さらなる好循環を生み出すためにも、競技場の整備や練習場所の確保、選手と町民のふれあいの場の創出を図り、多くの町民を巻き込みながら活動を盛り上げていきます。

#### 推進計画（具体的な事業）

##### ○競技施設や練習場の確保

本町には、矢巾町民総合体育館がありますが、近年の公式屋内球技大会などでは、アリーナの面積や観客席の関係で公式試合会場としては使用できない状況となっています。ト

ップアスリートや国際的な大会などが開催できるような屋内施設や屋外運動場などの整備を推進します。

(体育施設の整備)

- ・風雨雪などに影響されない、多目的室内運動施設や屋内温水プールの設置、国際大会などが開催可能な総合運動施設の整備などを推進します。(再掲)
- ・競技者の活動支援のため、練習場所の整備や確保、側面的支援など、競技者の活動にかかる支援を行います。

#### ○選手と町民の交流促進

(試合情報等チームの活動に関する情報発信)

- ・より多くの町民が、試合の観戦やイベント等に参加できるよう、スポーツの情報を積極的に発信します。

(チームの地域貢献等による町民との交流)

- ・地域の子どもたちを対象としたスポーツ体験の場や、指導を行う教室を開催してもらうなど、町民のスポーツへの興味・関心を高める取り組みを進めます。

### 推進施策3 各種スポーツ団体の活動情報の発信

《重点的な取り組み》

#### (1) スポーツ活動の広報支援

適時適切な情報を収集・発信することや、最新のスポーツ事情や地域のニーズを把握することは、スポーツを推進していくうえで重要です。

新たな地域スポーツの担い手や、地域コミュニティの核としての役割を担う各種スポーツ団体のさらなる発展のため、団体同士の連携を強化することやスポーツ指導員、及びスポーツ推進委員を含めた団体の活動情報を広く町民に発信するなど、より地域に根差して地域の課題に取り組む活動を支援していきます。

#### 推進計画(具体的な事業)

##### ○スポーツ団体の連携強化による好循環の創出

(スポーツ団体交流事業：再掲)

- ・定期的に町内のスポーツ団体等との意見交換を行うなど情報共有を図るとともに、各団体の情報や活動内容の町民への発信と広報について支援・協力します。

## 推進施策4 スポーツをとおした交流人口の拡大とスポーツ・ツーリズムの推進による地域経済の活性化

《重点的な取り組み》

### (1) 地域スポーツコミッションの推進

地域の活性化は、経済・観光分野に限らず、スポーツによる国際交流も含め、より多角的に取り組むことにより、交流人口の拡大によるさらなる地域の活性化を図ることができます。そのためにも、大規模なスポーツイベントの誘致や、スポーツ・ツーリズムの推進主体となる「盛岡広域スポーツコミッション」活動の協力及び事業の推進を進めます。

推進計画（具体的な事業）

#### ○盛岡広域スポーツコミッションとの連携推進

- ・スポーツへの参加や交流を目的とした本町への来訪者に対し、豊かな自然環境の中での野外活動等を含めた地域資源とスポーツを掛け合わせた観光を楽しむスポーツ・ツーリズムの推進を図るため、「盛岡広域スポーツコミッション」と連携し、スポーツイベント等の開催をささえ、スポーツを核とした盛岡広域圏の地域経済やスポーツの活性化に向けて取り組みます。

#### ○デジタル技術を活用したスポーツの推進

- ・子どもから高齢者、障がいがある人もない人も参加できるeスポーツイベントを開催し、幅広い層でのスポーツ交流の推進を進めます。

## 第5章 計画の推進に当たって

### 1 数値目標の設定及び中長期的な目標設定

計画を着実に推進するための目安として、第8次矢巾町総合計画前期基本計画の目標年次である令和6年度（2024年度）から令和9年度（2027年度）におけるまちづくりの指標として、5つの目標値を掲げていますのでこの数値目標を設定します。

第8次矢巾町総合計画では、5項目の施策の方向を定めています。

#### (1) スポーツのまちの推進

誰でも気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションの機会づくりや、遊歩道など日常的に自然に体を動かせる環境づくりを進めます。

#### (2) 競技スポーツの推進

東京オリンピック・パラリンピックの各種成果も活用しながら、種目別協議団体の活動を推進することにより、競技スポーツの振興を図ります。

#### (3) 障がい者スポーツの推進

誰もが能力に応じて取り組むことができるスポーツのすそ野を広げ、選手が高みを目指すことを支援する観点から、障がい者スポーツの普及を図ります。

#### (4) 多目的室内練習施設・スポーツ医科学センターの検討

岩手県スポーツ推進計画で整備が予定されている多目的室内練習施設・スポーツ医科学センターについて、盛岡広域圏の中で検討を進めながら本町への誘致を進めます。

#### (5) スポーツ施設の整備検討

町民総合体育館の今後の施設の在り方について、長寿命化や建て替えなどの様々な可能性を検討し、将来に向けた整備方針を定めます。

#### 【まちづくりの指標】

番号	指 標	単位	初期値 (令和5年度)	目標値 (令和9年度)	備考
①	スポーツ交流イベントの参加者数	人	1,200	1,300	平均値
②	県民体育大会出場種目数	競技	18	20	最終値
③	障がい者スポーツ普及イベント参加者数	人	350	500	最終値
④	スポーツ施設の誘致に向けた要望活動回数	回	0	5	累積値

⑤	町民総合体育館の整備方針決定	%	0	100	方針の決定をもって100%とする
---	----------------	---	---	-----	------------------

総合計画に掲げた指標は、本計画においても達成する目標として定めます。

なお、本計画で各推進計画に掲げた内容は、短期間で達成が難しい事業であるため本計画期間の4年間での達成目標とせず、中長期的な目標として定め、本計画の見直し時点で進捗状況を点検し、次計画に継続的かつ確実に引き継ぐこととします。

## 2 計画の評価

本計画の進捗状況や成果、課題を把握して、目標の達成を確認するために、※) 矢巾町スポーツ推進審議会などで評価、検証を行うとともに、社会情勢に則し、必要に応じて修正を行うこととします。

## 3 計画の広報活動

本計画は、町の施策を中心に町が定めるものですが、あくまでもスポーツの主役は町民、及び、町民に直接スポーツの機会を提供するスポーツ団体であり、本計画の目標の実現のために、町民、スポーツ団体、協力団体と「協働」で取り組んでいくものです。

そのために、スポーツ団体をはじめとしたスポーツに携わる全ての人が、本計画の理念を共有し、具体的内容を熟知できるよう、広報媒体を活用して、様々な機会に周知していくこととします。

---

【矢巾町スポーツ推進審議会】 矢巾町長の諮問に応じ、町のスポーツ推進に関する重要事項等について調査・審議し、及びこれらの事項について町長に答申する町の附属機関。委員数は令和5年4月現在10名で構成されている。



# 資料編

---

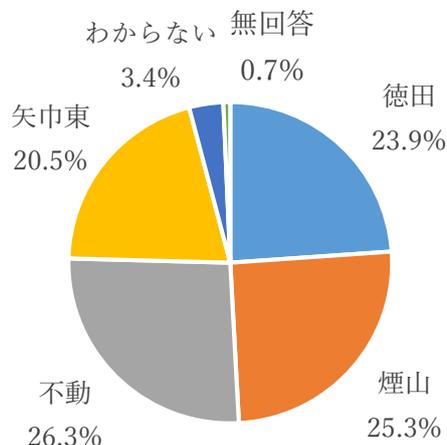


# 矢巾町スポーツ推進に関する町民意識調査（町民アンケート）集計表

## 【A】基本内容

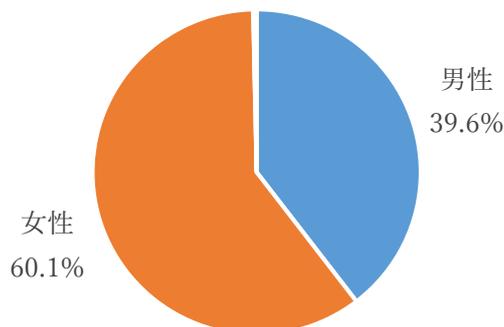
### 問（１）お住まいの学区域

選択項目	回答数	構成比(%)
1 徳田	70	23.9
2 煙山	74	25.3
3 不動	77	26.3
4 矢巾東	60	20.5
5 わからない	10	3.4
6 無回答	2	0.7
計	293	100.1



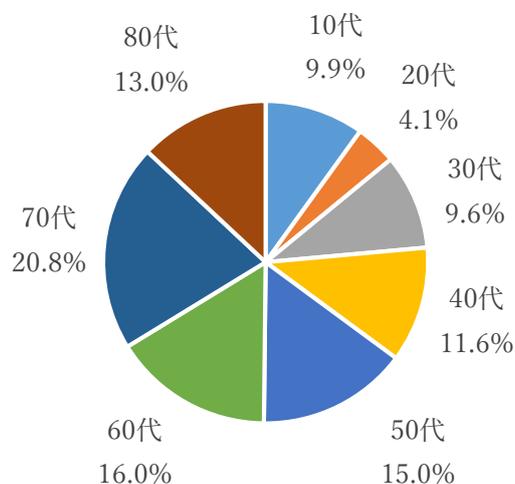
### 問（２）性別

選択項目	回答数	構成比(%)
1 男性	116	39.6
2 女性	176	60.1
3 無回答	1	0.3
計	293	100



### 問（３）年齢

選択項目	回答数	構成比(%)
1 10代	29	9.9
2 20代	12	4.1
3 30代	28	9.6
4 40代	34	11.6
5 50代	44	15
6 60代	47	16
7 70代	61	20.8
8 80代	38	13
計	293	100

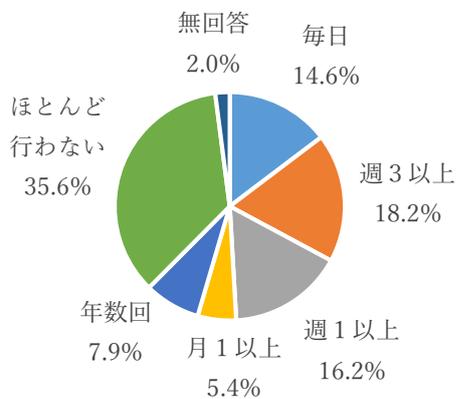


**【B】 運動の状況**

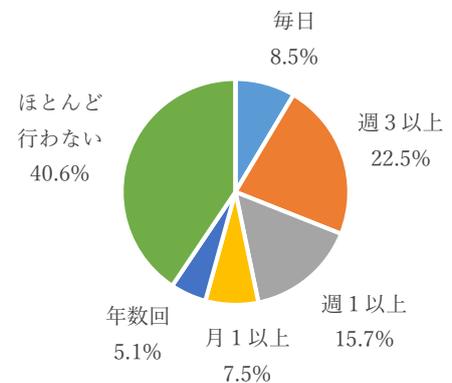
問（４）あなたは、運動などをどの程度行っていますか。

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 毎日	25	8.5	14.6	△ 6.1
2 週3以上	66	22.5	18.2	4.3
3 週1以上	46	15.7	16.2	△ 0.5
4 月1以上	22	7.5	5.4	2.1
5 年数回	15	5.1	7.9	△ 2.8
6 ほとんど行わない	119	40.6	35.6	5.0
7 無回答	0	0.0	2.0	△ 2.0
計	293	99.9	99.9	—

R2



R5

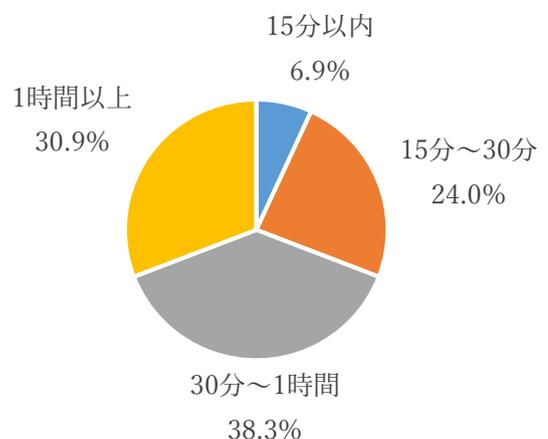


※「ほとんど行わない」と回答した方は40%を超え、令和2年よりも5%増加した。

《問4で「行っている（1～5）」と答えた方みの回答》

問（４-1）運動時間は1回あたりどのくらいですか。

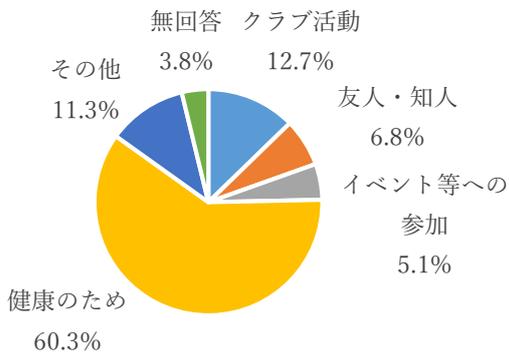
選択項目	回答数	構成比(%)
1 15分以内	12	6.9
2 15分～30分	42	24
3 30分～1時間	67	38.3
4 1時間以上	54	30.9
5 無回答	0	0
計	175	100.1



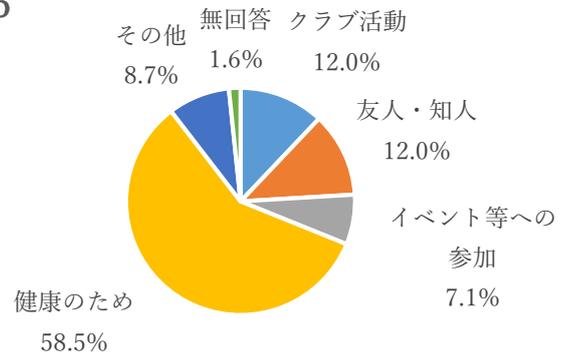
問（4-2）運動をするきっかけは何でしたか。（複数回答）

	選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1	クラブ活動	22	12	12.7	△ 0.7
2	友人・知人	22	12	6.8	5.2
3	イベント等への参加	13	7.1	5.1	2.0
4	健康のため	107	58.5	60.3	△ 1.8
5	その他	16	8.7	11.3	△ 2.6
6	無回答	3	1.6	3.8	△ 2.2
	計	183	99.9	100	—

R2



R5

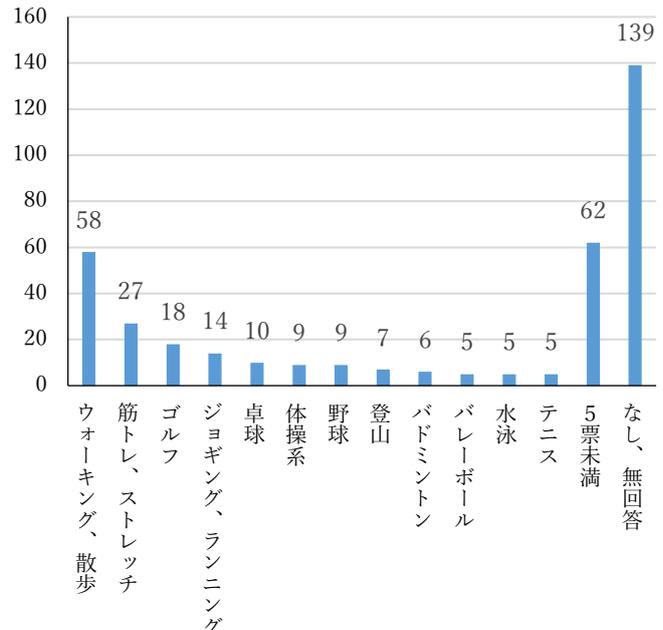


※「健康のため」と回答した方は、令和2年から若干減少したものの、50%を超えた。

問（4-3）あなたが行っているスポーツや運動について教えてください。（記述式）

	回答数	構成比(%)	
1	ウォーキング、散歩	58	15.5
2	筋トレ、ストレッチ	27	7.2
3	ゴルフ (マレット・グラウンド含む)	18	4.8
4	ジョギング、ランニング	14	3.7
5	卓球	10	2.7
6	体操系	9	2.4
7	野球	9	2.4
8	登山	7	1.9
9	バドミントン	6	1.6
10	バレーボール	5	1.3
11	水泳	5	1.3
12	テニス	5	1.3
13	5票未満	62	16.6
14	なし、無回答	139	37.2
	計	374	99.9

(単位:票)



※5票以上のみ記載。ウォーキング・散歩、筋トレ・ストレッチと手軽で継続しやすいものが上位となった。

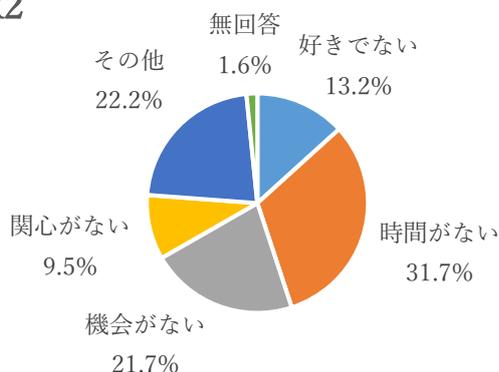
前回（令和2年）の上位は、ウォーキング・散歩、ラジオ体操、筋トレ・ストレッチであった。

《問4で「ほとんど行っていない」と答えた方のみの回答》

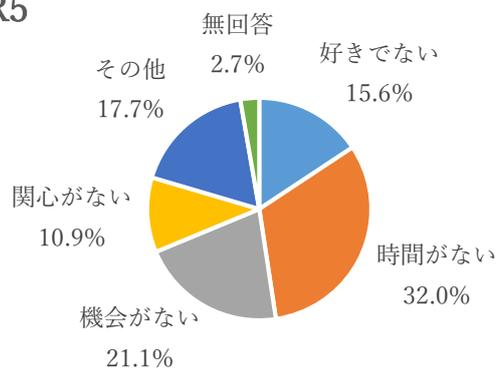
問（4-4）運動をしないまたはできない理由を選んでください。（複数回答）

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 好きでない	23	15.6	13.2	2.4
2 時間がない	47	32	31.7	0.3
3 機会がない	31	21.1	21.7	△ 0.6
4 関心がない	16	10.9	9.5	1.4
5 その他	26	17.7	22.2	△ 4.5
6 無回答	4	2.7	1.6	1.1
計	147	100	99.9	—

R2



R5

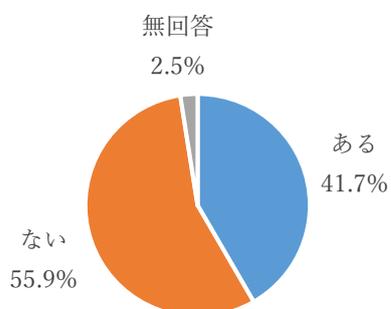


※運動を行わない理由として「時間がない」「機会がない」を合わせると半数以上となる。

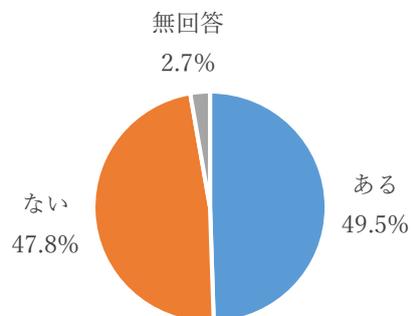
問（5）自治会などで行っているスポーツ行事に参加したことがありますか。

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 ある	145	49.5	41.7	7.8
2 ない	140	47.8	55.9	△ 8.1
3 無回答	8	2.7	2.5	0.2
計	293	100	100.1	—

R2

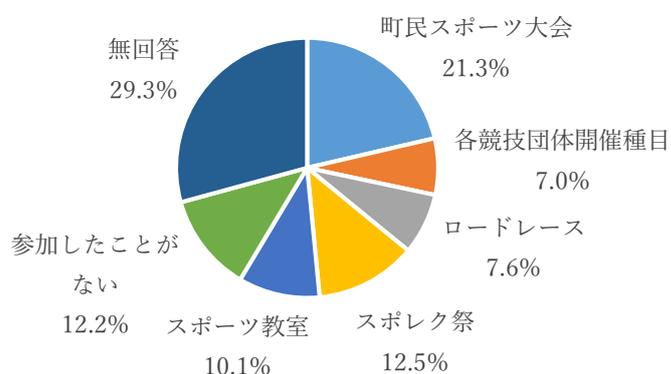


R5



問（6）矢巾町で行われるスポーツイベントに参加したことはありますか。（複数回答）

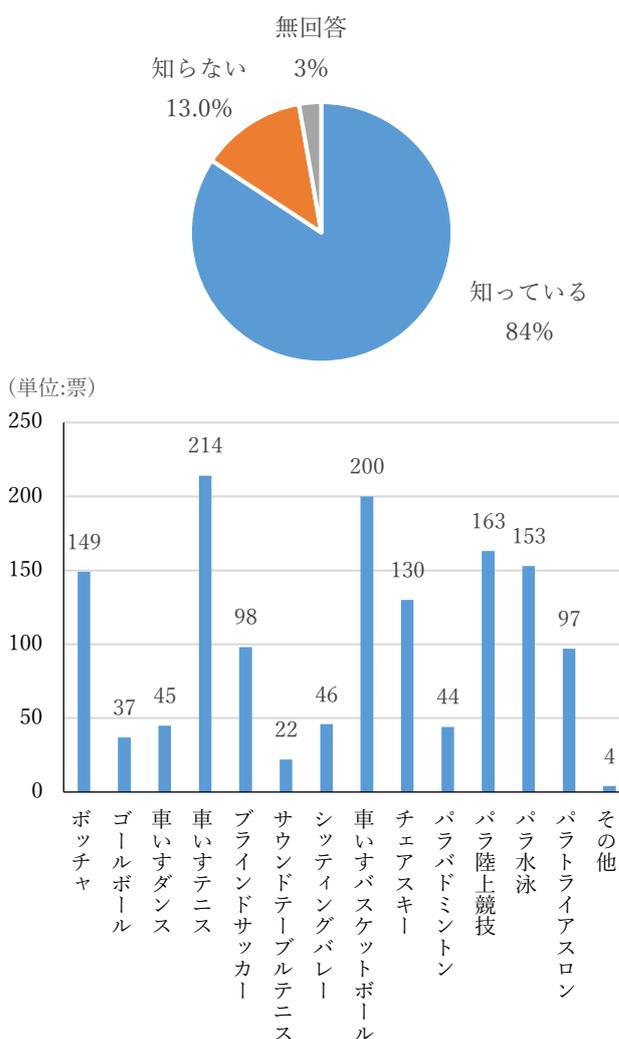
選択項目	回答数	構成比(%)
1 町民スポーツ大会	70	21.3
2 各競技団体開催種目	23	7
3 ロードレース	25	7.6
4 スポレク祭	41	12.5
5 スポーツ教室	33	10.1
6 参加したことがない	40	12.2
7 無回答	96	29.3
計	328	100



**【C】 障がい者スポーツ、eスポーツ**

問（7） 障がい者の方が参加するスポーツを知っていますか。（複数回答(競技種目)）

	回答数	構成比(%)
1 知っている	247	84.3
ボッチャ	149	60.3
ゴールボール	37	15
車いすダンス	45	18.2
車いすテニス	214	86.6
ブラインドサッカー	98	39.7
サウンドテーブルテニス	22	8.9
シッティングバレー	46	18.6
車いすバスケットボール	200	81
チェアスキー	130	52.6
パラバドミントン	44	17.8
パラ陸上競技	163	66
パラ水泳	153	61.9
パラトライアスロン	97	39.3
その他	4	1.6
2 知らない	38	13
3 無回答	8	2.7
計	293	664.8



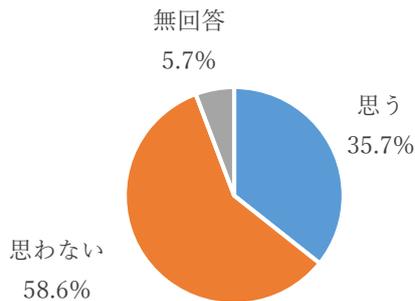
※東京パラリンピック開催に伴いパラスポーツの認知度が上がってきている。

《問7で「知っている」と記入した方だけの回答》

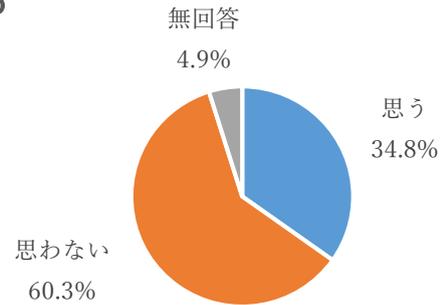
問（7-1）障がい者の方が参加するスポーツや大会に関わっていきたいと思いますか。

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 思う	86	34.8	35.7	△ 0.9
2 思わない	149	60.3	58.6	1.7
3 無回答	12	4.9	5.7	△ 0.8
計	247	100	100	—

R2



R5



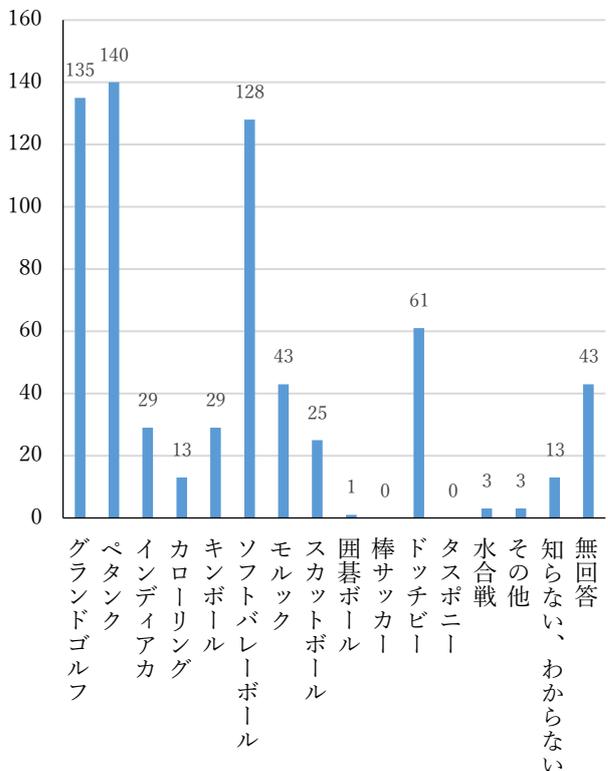
※60.3%の方が障がい者の方が参加するスポーツ大会に「関わりたいと思わない」と回答。  
障がい者スポーツについて理解を深める機会が必要である。

問（8）あなたの知っているまたは活動しているニュースポーツの種目はありますか。

（複数回答）

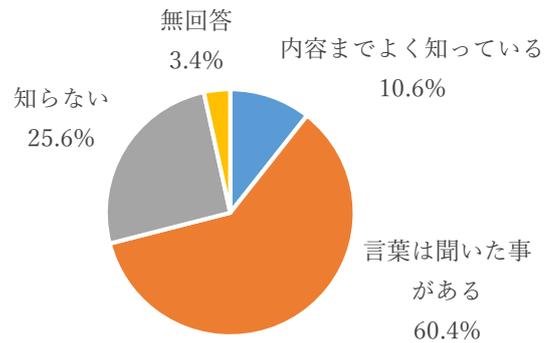
選択項目	回答数	構成比(%)
1 グランドゴルフ	135	20.3
2 ベタンク	140	21
3 インディアカ	29	4.4
4 カローリング	13	2
5 キンボール	29	4.4
6 ソフトバレーボール	128	19.2
7 モルック	43	6.5
8 スカットボール	25	3.8
9 囲碁ボール	1	0.2
10 棒サッカー	0	0
11 ドッチビー	61	9.2
12 タスポニー	0	0
13 水合戦	3	0.5
14 その他	3	0.5
15 知らない、わからない	13	2
16 無回答	43	6.5
計	666	100.5

（単位:票）



問（9）あなたはeスポーツに興味がありますか。

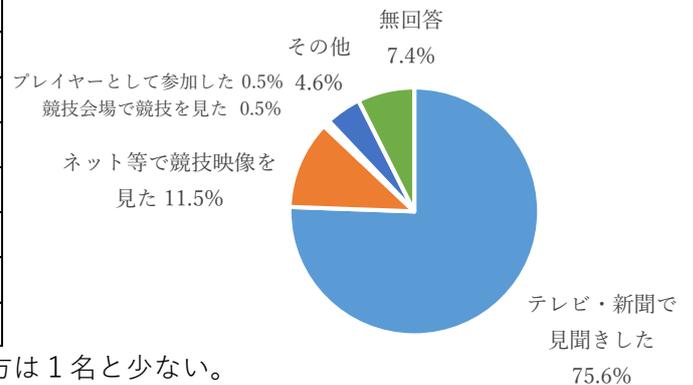
選択項目	回答数	構成比(%)
1 内容までよく知っている	31	10.6
2 言葉は聞いた事がある	177	60.4
3 知らない	75	25.6
4 無回答	10	3.4
計	293	96.6



※「内容までよく知っている」「言葉は聞いた事がある」と回答した方は71.0%で、eスポーツの知名度は高い数値となった。

問(9-1) あなたは直近1年間でeスポーツを見聞きしたり取り組んだことがありますか。  
(複数回答)

選択項目	回答数	構成比(%)
1 テレビ・新聞で見聞きした	164	75.6
2 ネット等で競技映像を見た	25	11.5
3 競技会場で競技を見た	1	0.5
4 プレイヤーとして参加した	1	0.5
5 その他	10	4.6
6 無回答	16	7.4
計	217	5.6



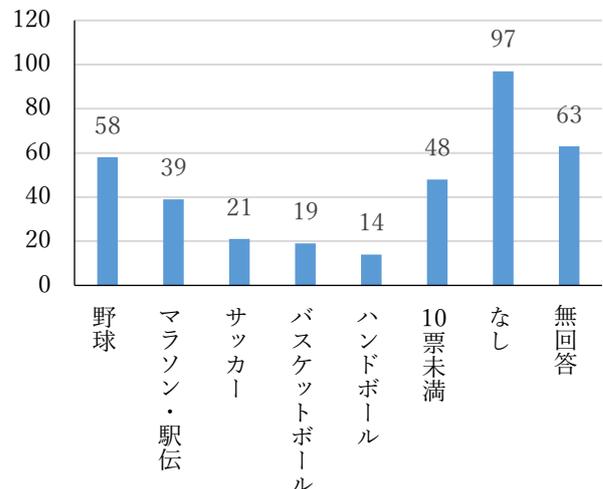
※見聞きしたことはあっても、実際にプレイした方は1名と少ない。

#### 【D】スポーツ観戦・ボランティア

問（10）この1年間でスタジアム・体育館・沿道などで実際にスポーツ観戦をしたことがありますか。（記述式）

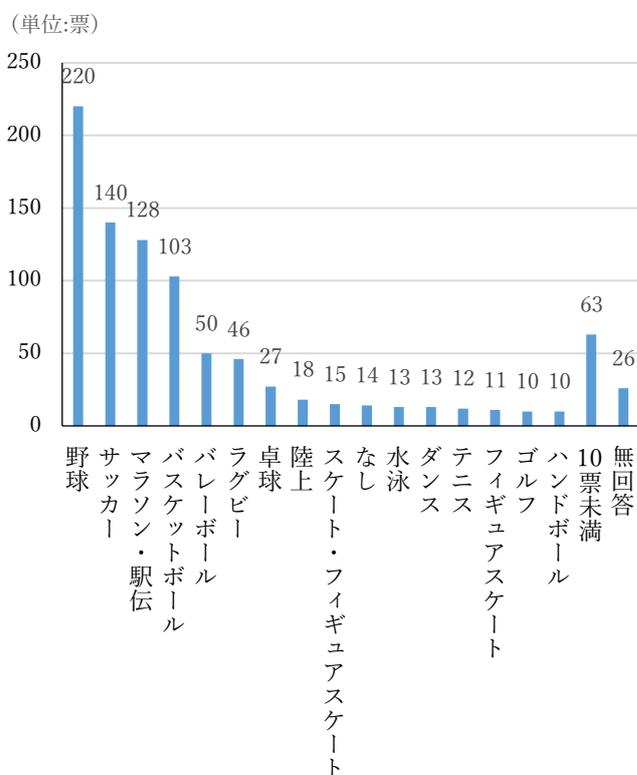
	回答数	構成比(%)
1 野球	58	16.2
2 マラソン・駅伝	39	10.9
3 サッカー	21	5.8
4 バスケットボール	19	5.3
5 ハンドボール	14	3.9
6 10票未満	48	13.4
7 なし	97	27
8 無回答	63	17.5
計	359	100

(単位:票)



問 (11) この1年間でテレビ・ラジオ・インターネット配信などでスポーツ観戦をしたことがありますか。(記述式)

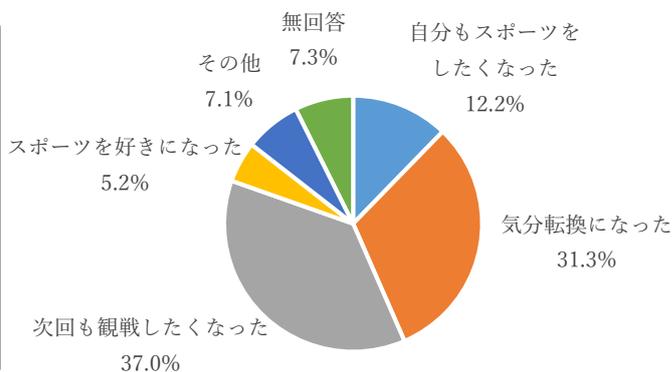
	回答数	構成比(%)
1 野球	220	23.9
2 サッカー	140	15.2
3 マラソン・駅伝	128	13.9
4 バスケットボール	103	11.2
5 バレーボール	50	5.4
6 ラグビー	46	5
7 卓球	27	2.9
8 陸上	18	2
9 スケート・フィギュアスケート	15	1.6
10 なし	14	1.5
11 水泳	13	1.4
12 ダンス	13	1.4
13 テニス	12	1.3
14 フィギュアスケート	11	1.2
15 ゴルフ	10	1.1
16 ハンドボール	10	1.1
17 10票未満	63	6.9
18 無回答	26	2.8
計	919	99.8



※実際に競技場等でのスポーツ観戦は少なかったものの、95.6%がテレビ等でスポーツ観戦をしている。

問 (12) スポーツ観戦をしてどのようなことを感じましたか。(複数回答)

選択項目	回答数	構成比(%)
1 自分もスポーツをしたくなった	45	12.2
2 気分転換になった	115	31.3
3 次回も観戦したくなった	136	37.0
4 スポーツを好きになった	19	5.2
5 その他	26	7.1
6 無回答	27	7.3
計	368	100.1



※「運動は好きでない・運動に関心が無い」と回答した方の内 66.0%がスポーツを観戦することで、「気分転換になった」「次回も観戦したくなった」「スポーツを好きになった」と回答した。

問 (13) この1年間でスポーツに関する指導・ボランティア等を行ったことがありますか。

選択項目	回答数	構成比(%)
1 ある	23	7.8
2 ない	244	83.3
3 無回答	26	8.9
計	293	100



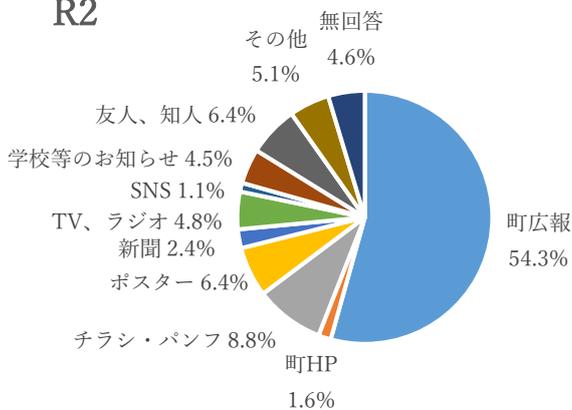
※あると回答した方は7.8%と低い数値となっている。

### 【E】 要望等

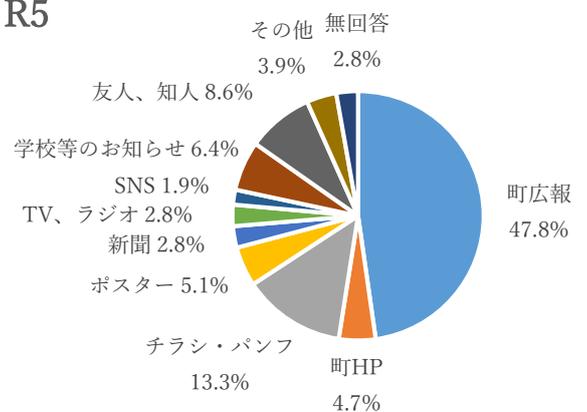
問 (14) あなたは、矢巾町で行われるスポーツイベント情報をどのような方法でお知りになりましたか。(複数回答)

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 町広報	223	47.8	54.3	△ 6.5
2 町HP	22	4.7	1.6	3.1
3 チラシ・パンフレット	62	13.3	8.8	4.5
4 ポスター	24	5.1	6.4	△ 1.3
5 新聞	13	2.8	2.4	0.4
6 TV、ラジオ	13	2.8	4.8	△ 2.0
7 SNS	9	1.9	1.1	0.8
8 学校等のお知らせ	30	6.4	4.5	1.9
9 友人、知人	40	8.6	6.4	2.2
10 その他	18	3.9	5.1	△ 1.2
11 無回答	13	2.8	4.6	△ 1.8
計	467	100.1	100	—

R2



R5

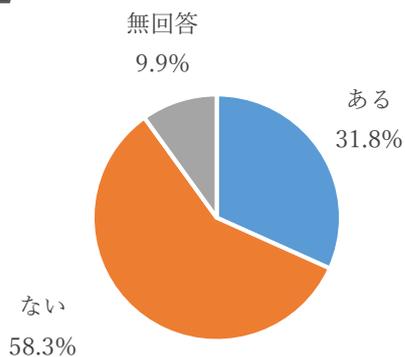


※「町広報」を通じて情報を得ている方が約半数となっている。

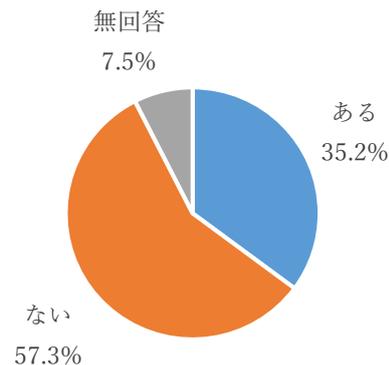
問（15） あなたは、矢巾町で開催してほしいスポーツ大会や教室などがありますか。

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 ある	103	35.2	31.8	3.4
2 ない	168	57.3	58.3	△ 1.0
3 無回答	22	7.5	9.9	△ 2.4
計	293	100	100	—

R2



R5

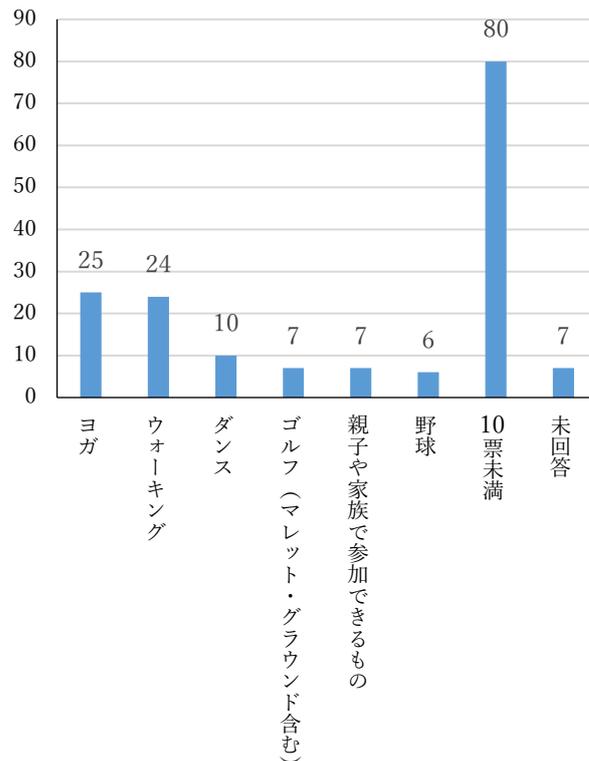


《問 15 で「ある」と記入した方みの回答》

問（15-1） どのような大会や教室を希望しますか。（記述式）

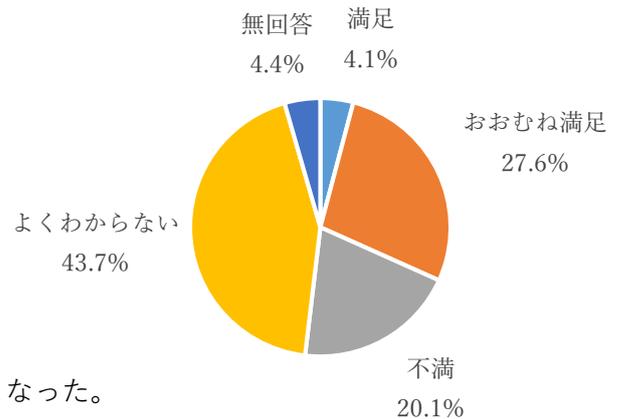
	回答数	構成比(%)
1 ヨガ	25	15.1
2 ウォーキング	24	14.5
3 ダンス	10	6
4 ゴルフ (マレット・グラウンド含む)	7	4.2
5 親子や家族で参加できるもの	7	4.2
6 野球	6	3.6
7 5票未満	80	48.2
8 未回答	7	4.2
計	166	100

(単位:票)



問（16）あなたは矢巾町のスポーツ施設についてどのようにお考えですか。

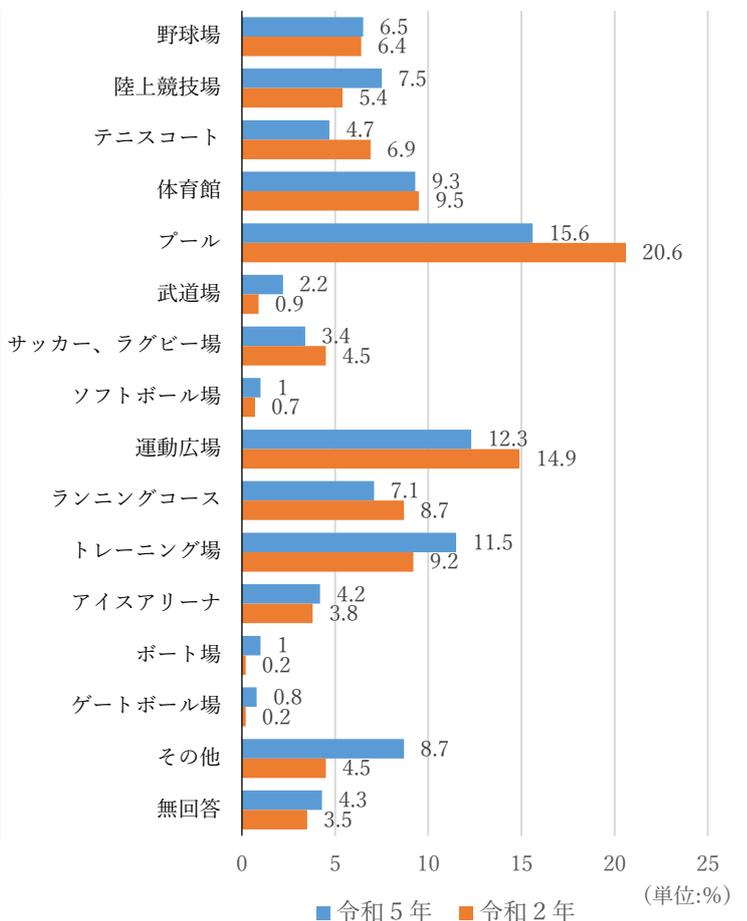
選択項目	回答数	構成比(%)
1 満足	12	4.1
2 おおむね満足	81	27.6
3 不満	59	20.1
4 よくわからない	128	43.7
5 無回答	13	4.4
計	293	99.9



※「不満」と回答した方は 20.1%で、「満足・おおむね満足」と回答した方は 31.7%となった。

問（17）矢巾町に必要なと思う施設は何ですか。（複数回答）

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 野球場	33	6.5	6.4	0.1
2 陸上競技場	38	7.5	5.4	2.1
3 テニスコート	24	4.7	6.9	△2.2
4 体育館	47	9.3	9.5	△0.2
5 プール	79	15.6	20.6	△5.0
6 武道場	11	2.2	0.9	1.3
7 サッカー、ラグビー場	17	3.4	4.5	△1.1
8 ソフトボール場	5	1	0.7	0.3
9 運動広場	62	12.3	14.9	△2.6
10 ランニングコース	36	7.1	8.7	△1.6
11 トレーニング場	58	11.5	9.2	2.3
12 アイスアリーナ	21	4.2	3.8	0.4
13 ボート場	5	1	0.2	0.8
14 ゲートボール場	4	0.8	0.2	0.6
15 その他	44	8.7	4.5	4.2
16 無回答	22	4.3	3.5	0.8
計	506	100.1	99.9	-



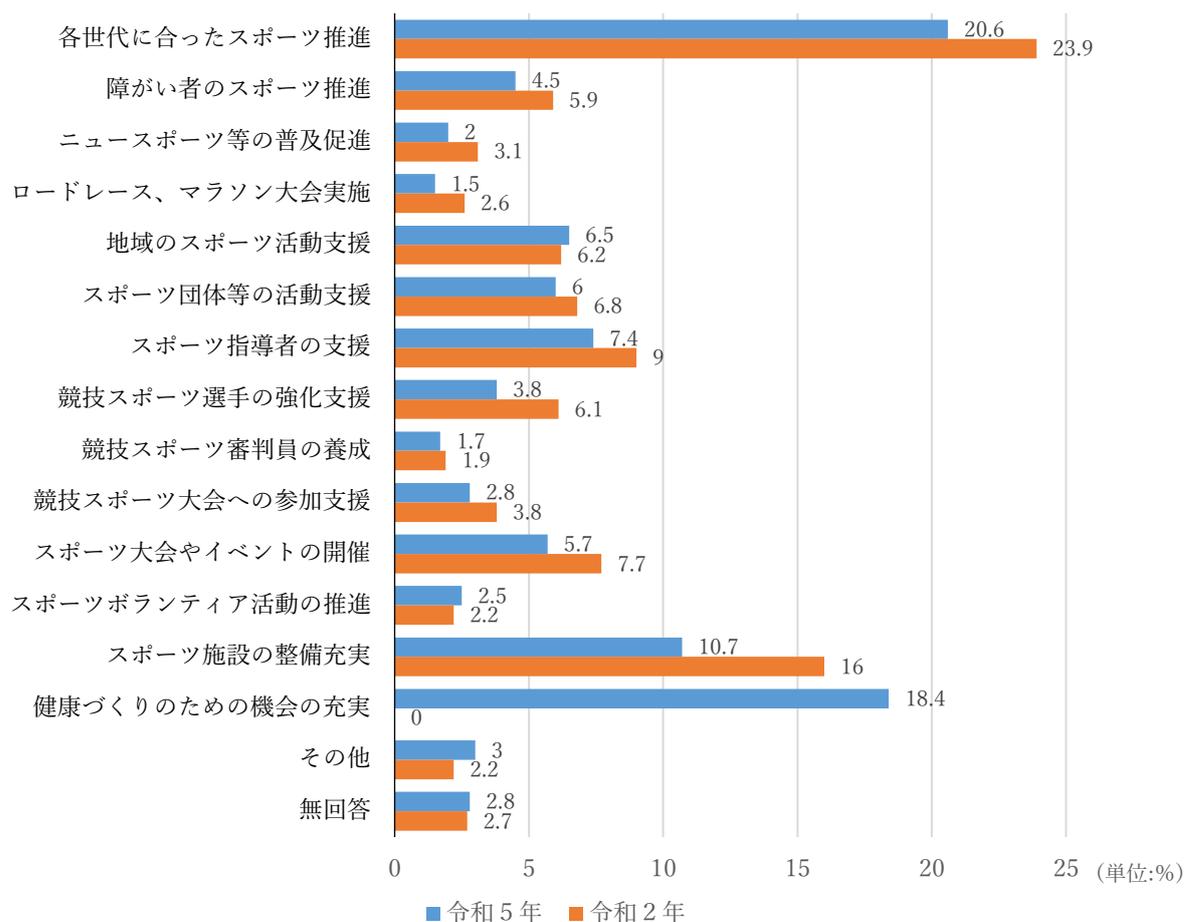
【その他】

- ・子どもが遊べる遊具のある公園
- ・スケートボード場 ・グランドゴルフ場

※「プール」を希望する方が 20%を超え、40～60代が多く希望していた。

問（18）あなたは矢巾町のスポーツ推進について、何が重要だと思われますか。（複数回答）

選択項目	回答数	構成比(%)	前回(%)	増減
1 各世代に合ったスポーツ推進	123	20.6	23.9	△ 3.3
2 障がい者のスポーツ推進	27	4.5	5.9	△ 1.4
3 ニュースポーツ等の普及促進	12	2	3.1	△ 1.1
4 ロードレース、マラソン大会実施	9	1.5	2.6	△ 1.1
5 地域のスポーツ活動支援	39	6.5	6.2	0.3
6 スポーツ団体等の活動支援	36	6	6.8	△ 0.8
7 スポーツ指導者の支援	44	7.4	9	△ 1.6
8 競技スポーツ選手の強化支援	23	3.8	6.1	△ 2.3
9 競技スポーツ審判員の養成	10	1.7	1.9	△ 0.2
10 競技スポーツ大会への参加支援	17	2.8	3.8	△ 1.0
11 スポーツ大会やイベントの開催	34	5.7	7.7	△ 2.0
12 スポーツボランティア活動の推進	15	2.5	2.2	0.3
13 スポーツ施設の整備充実	64	10.7	16	△ 5.3
14 健康づくりのための機会の充実	110	18.4	—	—
15 その他	18	3	2.2	0.8
16 無回答	17	2.8	2.7	0.1
計	598	99.9	100.1	—



※「各世代に合ったスポーツ推進」と回答した方の内、約38%が60～70代であった。

問 (19) 矢巾町のスポーツ推進においてあなたが取り組むことができることがありましたら  
ご記入ください。

スポーツをする	スポーツを支える	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のスポーツ行事へ参加する。</li> <li>・スキーをする。</li> <li>・町主催などのスポーツの機会にできるだけ参加する。</li> <li>・町民スポーツ大会に参加する。しかし年代別なので住民が少ない地域は不利である。少し年代別について考えてほしい。</li> <li>・部活をがんばる。</li> <li>・教室等へ参加する。</li> <li>・1人でも参加しやすい教室や初めてでも出来ると良いと思う。案内などに目を通すことから始めたい。</li> <li>・ランニングをする。</li> <li>・過激なスポーツは無理だが、体力作りがしたい。</li> <li>・ヨガやウォーキング教室、プールを使った運動など健康づくりのためのスポーツに参加して、友人や知人にその良さを広めたい。</li> <li>・ラジオ体操の実施</li> <li>・後期高齢者なので健康作りのスポーツをする。</li> <li>・町の取組の様子を広報等からひろい、積極的に参加できるようにする。</li> <li>・健康のためにとプールで水中運動をしている。近くにあれば回数をふやしたい。</li> <li>・高齢になり激しいスポーツは難しいが、体力・筋力などの維持のための運動は欠かせないと思っている。私より年長の方がお元気でいられるのは励みになる。私自身が後に続く方々に元気な姿を見せることが今の私にできることだと思っている。</li> <li>・健康づくりのための体操、ラジオ体操、シルバー体操をする。</li> <li>・高齢者スポーツ、グラウンドゴルフ、野球をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイトトレーニングや食事方法の案内。</li> <li>・子どもの部活動の支援をする。</li> <li>・誰でも簡単にできるボランティアがあれば参加したい。</li> <li>・スポーツボランティア</li> <li>・運営・活動の補助</li> <li>・ハンドボール指導</li> <li>・スポーツのボランティア</li> <li>・障がい者スポーツ大会にボランティアとして参加</li> <li>・競技指導補助</li> <li>・子どもたちに手がかからなくなってきたら、ボランティアをやってみたい。</li> <li>・スポーツ大会・教室のボランティア</li> <li>・水泳の指導、プールでの運動（水中歩行、体操など）の指導</li> <li>・マラソン大会の補助員</li> <li>・子供の頑張っている剣道の後押し</li> <li>・ポールウォーキング指導者の受講経験が有り、町として普及拡大出来たら良いなと思っている。</li> <li>・スポーツイベントの実施（人口拡大が目的）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心を持つこと。</li> <li>・する、みる、ささえるは少しでも協力したいと思うが、いつでも、どこでも、いつまでもは少しむずかしいような気がする。</li> <li>・何が出来るのかよくわからないので、取り組む項目が示されていれば、出来る事もあるかもしれない。</li> <li>・スポーツ推進といわれても、とっかかりがないのでわからない。スポーツの町矢巾というのも初めて知った。</li> <li>・中学校における部活動（スポーツ）の指導員の確保、及び先生（監督、顧問）の軽減をすべきだと思う。</li> <li>・雪国の岩手でスキーが出来ない人が多くなっているのは嘆かわしい。小学生のスキー教室を復活させる必要がある。</li> <li>・仕事をしていると日中の参加が難しいため、若い人が夜に参加できることを考える。子育て中の方が参加できるものも必要。</li> <li>・高齢になっても健康であれば誰でも取り組める空気感がほしい。</li> <li>・町民スポーツ大会種目の見直し。</li> <li>・剣道人口を増やしたい。</li> </ul>

※スポーツを見ることについての回答は無かった

問(20) 矢巾町のスポーツ施設に関してご要望、ご意見がありましたらご記入ください。

施設・設備関係	情報関係	イベント関係	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プールを建設してほしい。</li> <li>・矢巾町体育館に冷暖房を設置して欲しい。</li> <li>・ハンドボール正式コートがある体育館を希望したい。</li> <li>・誰でも使える大きなトレーニング施設を造ってほしい。</li> <li>・野球場があればいいと思う。</li> <li>・ウォーキングやランニングができるコースを整備して欲しい。</li> <li>・サッカー場をつくってほしい。</li> <li>・誰でも自由に出入りできる芝生が敷かれている広場がほしい。</li> <li>・生涯スポーツ推進のための設備を充実してほしい。</li> <li>・施設、設備の設置・新設等については、メンテナンス等のことをよく検討して設置願いたい。</li> <li>・冬季の運動場（テニス、サッカー等）の新設。</li> <li>・剣道場の床を荒らさないで欲しい（ダンスシューズやタップシューズでの入場禁止）。</li> <li>・ドーム型施設を作り、夏はスポーツ、冬はコンサート等できる様にしてほしい。それに伴い矢巾町を発展・進化させてほしい。</li> <li>・運動用具などを含めた運動公園をつくってほしい。</li> <li>・町民総合体育館を新しく大きくし、体育館の中にランニングコースもあるなど多機能施設になったらいいのではないか。</li> <li>・公園を増やす又は遊具の整備、増設をお願いしたい。</li> <li>・体育館に託児所やキッズスペースがあると子どもがいても運動できるので、設置を検討してほしい。</li> <li>・体育館のトレーニングルームを一新してほしい。</li> <li>・プール、競技場、スケートリンク等があれば若い人も喜んで遊んだり練習に励んだりすると思う。</li> <li>・今以上のスポーツ施設は不要。</li> <li>・子供が気兼ねなく遊べる場所が欲しい。</li> <li>・変化にとんだコースのマレットゴルフ場を新設して欲しい。</li> <li>・矢巾町でドームを建設する話はどうなっているのか。</li> <li>・ランニングマシンを増やしてほしい。</li> <li>・女性専用のジムやトレーニング室などがあると利用しやすいと思う。</li> <li>・総合施設がほしい。</li> <li>・新しく出来たマレットゴルフ場に自販機がほしい。</li> <li>・剣道場を整備してほしい。（矢巾北中の剣道場の有効利用）</li> <li>・冷暖房完備の施設が欲しい。</li> <li>・温泉設備もほしい。</li> <li>・矢巾町の施設、設備はどれも、他と比べて中途半端な気がしてならない。なにが1つでも「これだ」というものが欲しい。</li> <li>・施設の設置場所が町中央部にあり、自転車や徒歩で行って利用できるようであればいい。</li> <li>・野球グラウンドが古くトイレもきたない。もっと整備してほしい。</li> <li>・スポーツをしない人でも手軽にスポーツを体験できる施設があったらうれしい。</li> <li>・陸上競技場、グラウンドゴルフ場がほしい。</li> <li>・体育館トレーニング室のパワーマックスを更新又はワットバイク入れてほしい。</li> <li>・室内で子どもと楽しめる遊戯場がほしい。</li> <li>・体育館の使用料を町民は無料にしてほしい。有料ならもう少し新しくしてほしい。</li> <li>・子どもから若い人が気軽に立ちよれる施設が欲しい。利用料も小中高生は無料で使用できるようにすると良いと思う。</li> <li>・バッティング場がほしい。</li> <li>・無料で使えるスポーツ施設を増やす。</li> <li>・体育館をもっと気軽に利用できるような仕組みをつくる。</li> <li>・施設の維持・管理は大変だが、町外から利用者がくるような施設が必要ではないか。</li> <li>・マレットゴルフ場に夏場には日よけがほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用方法、料金、時間、内容など、分かりやすく周知してほしい。</li> <li>・HPを見やすくしてほしい。</li> <li>・イベントにどのような年代の方が参加しているのか知りたい。</li> <li>・イベントをLINEで知らせてくれると情報が見つけやすい。</li> <li>・情報が少なく何が出来るのかよくわからず、調べてみても利用せずに終わりにしたことがある。また、設備も老朽化が進んでいるイメージがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に参加できる、やる気になりそうな運動があれば、やってみたい。</li> <li>・健康セミナーの回数を増やしてほしい。希望した人達が参加できるようにしてほしい。</li> <li>・高齢者（その家族も含）の骨折予防講座を開設してほしい。</li> <li>・気軽に参加できるイベントをしてほしい。</li> <li>・会場の広さなどで、人数制限されることがある。催しによって選べるような広さの場所があるといいと思う。</li> <li>・20代～40代くらいでも参加できるようなイベントがあると嬉しい。気軽に参加できるといいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体が応援できるブルスポーツを誘致できたら盛り上がるのでは。</li> <li>・マレットゴルフ場にほぼ満足している。</li> <li>・今のままでいいと思う。他に予算を増やす分野があると思う。</li> <li>・税金を大切に使うほしい。新しくすれば良いという問題なのか。</li> <li>・中学校における部活動（スポーツ）の指導員の確保、及び先生（監督、顧問）の軽減をするべきだと思う。</li> <li>・本格的なスポーツクラブの設立。</li> <li>・加入しやすいようにしてほしい。</li> <li>・充分活用できる計画を立ててほしい。</li> <li>・施設の整備のほか、選手の発掘、強化に邁進してほしい。</li> <li>・基本的に施設は立派で満足しており、今後もたくさん利用したい。</li> <li>・町体育館の利用は町内の人を優先、スポ少を優先してほしい。</li> <li>・町や地区の運動会は、運動が苦手な人がいると思うので、無理じいさせないで欲しい。</li> </ul>